

訪日外国人の消費動向

訪日外国人消費動向調査結果及び分析

2022 年 年次報告書



国土交通省

観光庁

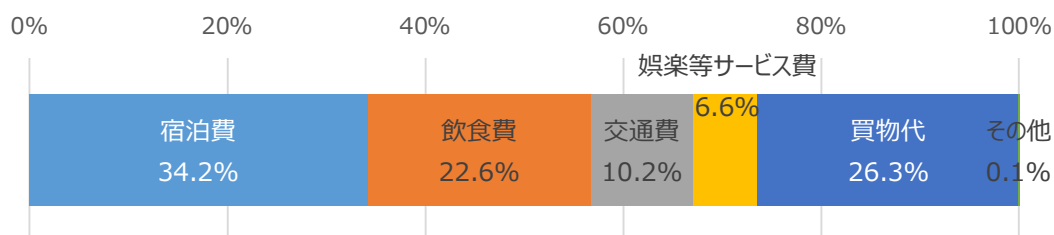
JAPAN TOURISM AGENCY

訪日外国人消費動向調査 2022年調査結果（試算値）の概要

■ 2022年 訪日外国人旅行消費額 **8,987** 億円（試算値）

- 2022年の訪日外国人旅行消費額^{注1}（試算値）は総額で8,987億円と推計される。
- 訪日外国人旅行消費額を費目別にみると、宿泊費が34.2%、飲食費が22.6%、買物代が26.3%を占める。

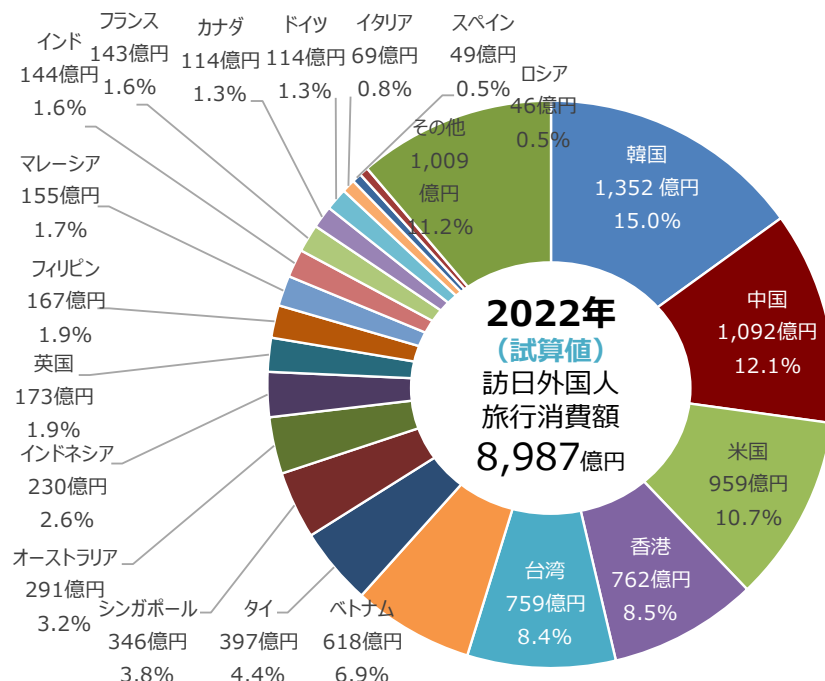
【図表】訪日外国人旅行消費額の費目別構成比



■ 旅行消費額の多い国・地域 ①韓国 ②中国 ③米国

- 国籍・地域別では、①韓国 ②中国 ③米国 ④香港 ⑤台湾の順で旅行消費額が多い。
- 上位5ヶ国・地域で、訪日外国人旅行消費額全体の54.8%を占める。

【図表】国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比

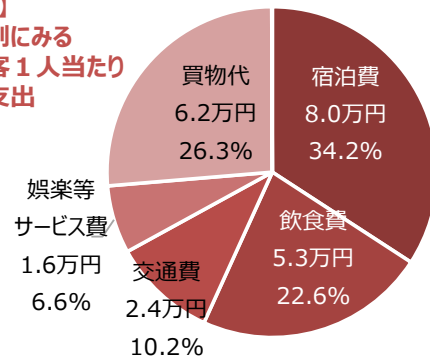


注1) 訪日外国人（クルーズ客を含む）が日本滞在中に支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分を推計して加算している（クルーズ客は旅行中支出のみ計上）。日本の航空会社や船舶会社に支払われる国際旅客運賃は含まれない。

■ 2022年 一般客 1人当たり旅行支出 23.5万円

- 2022年の訪日外国人（一般客）1人当たり旅行支出は23.5万円と推計される。
- 費目別にみると、宿泊費が8.0万円と最も高く、次いで買物代6.2万円、飲食費5.3万円の順で高い。

【図表】
費目別にみる
一般客 1人当たり
旅行支出



【図表】国籍・地域別の旅行消費額

2022年暦年

(億円)

国籍・地域	訪日外国人旅行消費額							
	総 額		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他
		2019年比						
全国籍・地域	8,987	-81.3%	3,071	2,032	920	597	2,361	6
韓国	1,352	-68.2%	427	346	118	129	329	2
台湾	759	-86.2%	202	144	66	24	323	0
香港	762	-78.4%	201	167	67	28	300	0
中国	1,092	-93.8%	288	214	70	210	310	0
タイ	397	-77.1%	113	93	47	12	133	0
シンガポール	346	-59.4%	125	73	38	9	100	0
マレーシア	155	-76.6%	61	33	19	6	37	0
インドネシア	230	-57.3%	88	51	27	8	54	1
フィリピン	167	-74.6%	61	36	17	4	50	0
ベトナム	618	-29.4%	191	147	65	27	187	0
インド	144	-47.5%	64	33	15	6	25	0
英国	173	-82.6%	80	38	21	5	29	0
ドイツ	114	-75.5%	52	27	17	4	14	0
フランス	143	-82.1%	58	33	20	8	23	0
イタリア	69	-78.7%	31	16	9	3	10	0
スペイン	49	-83.1%	20	12	7	4	6	0
ロシア	46	-79.0%	16	10	4	8	7	0
米国	959	-70.3%	431	224	120	28	156	0
カナダ	114	-82.9%	46	26	16	5	23	0
オーストラリア	291	-80.9%	115	66	37	13	60	0
その他	1,009	-66.8%	399	244	121	57	186	2
クルーズ客（再掲）	0	-100%	0	0	0	0	0	0

注1) 国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もあるため、留意されたい。

訪日外国人の消費動向

2022 年 年次報告書

目 次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

- (1) 全目的 1
- (2) 観光・レジャー目的 7

2. 訪日外国人の旅行支出

- (1) 旅行支出の構造 11
- (2) 旅行前支出 12
- (3) 旅行中支出 12
- (4) 旅行支出の推計 14
- (5) 費目別にみる旅行支出 16
- (6) 来訪目的別にみる旅行支出 17

3. 土産品の購入実態

- (1) 費目別購入率 18
- (2) 費目別購入者単価 18
- (3) 消費税免税手続きの実施状況 19

4. 満足度と再訪意向

- (1) 訪日旅行全体の満足度 20
- (2) 日本への再訪意向 20

5. 旅行情報と旅行情報源

- (1) 出発前に役に立った旅行情報源 21
- (2) 出発前に旅行情報を得た言語 21
- (3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源 22
- (4) 日本滞在中に役に立った旅行情報 22

6. 日本滞在中の行動

- (1) 訪日前に期待していたこと 23
- (2) 今回したことと次回したいこと 24
- (3) 今回したことの満足度 24

「訪日外国人消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている（それぞれの調査の概要についてはⅢ編を参照のこと）。

【A 全国調査】

【B 1 地域調査】

【B 2 クルーズ調査】

本報告書のⅠ編およびⅡ編は【A 全国調査】および【B 1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B 2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	27
(2) 調査の沿革	27
(3) 調査の根拠法令	27
(4) 調査の対象	27
(5) 抽出方法	28
(6) 目標精度と標本サイズ	28
(7) 調査事項	29
(8) 調査の時期	30
(9) 調査の方法	30

2. 用語の解説

(1) 主要項目	31
(2) 支出費目	33
(3) 買物場所	38

3. 調査の結果

(1) 表章事項	39
(2) 集計方法	39
(3) 調査結果の精度	40
(4) 利用上の注意	40

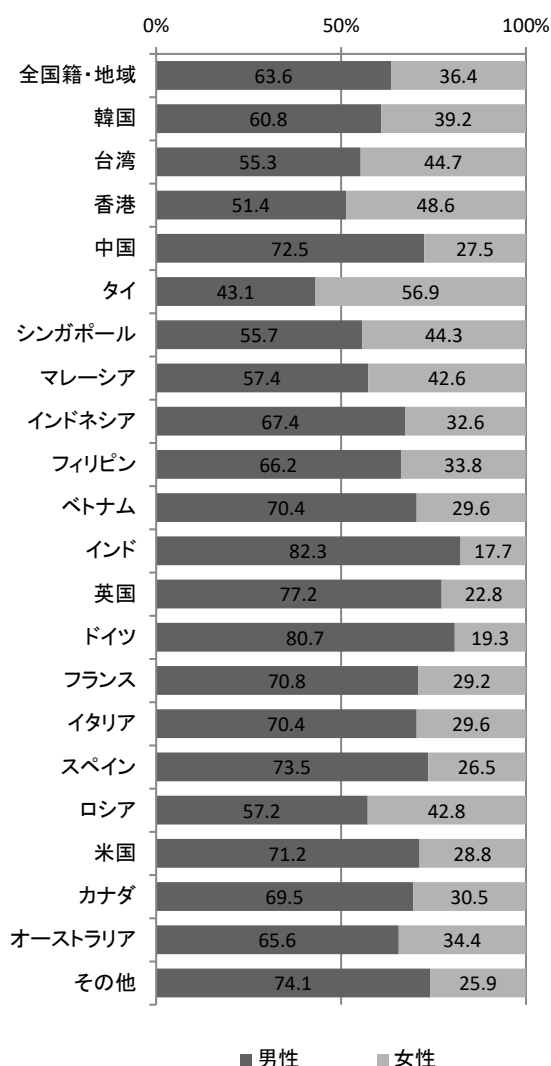
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2022 年】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

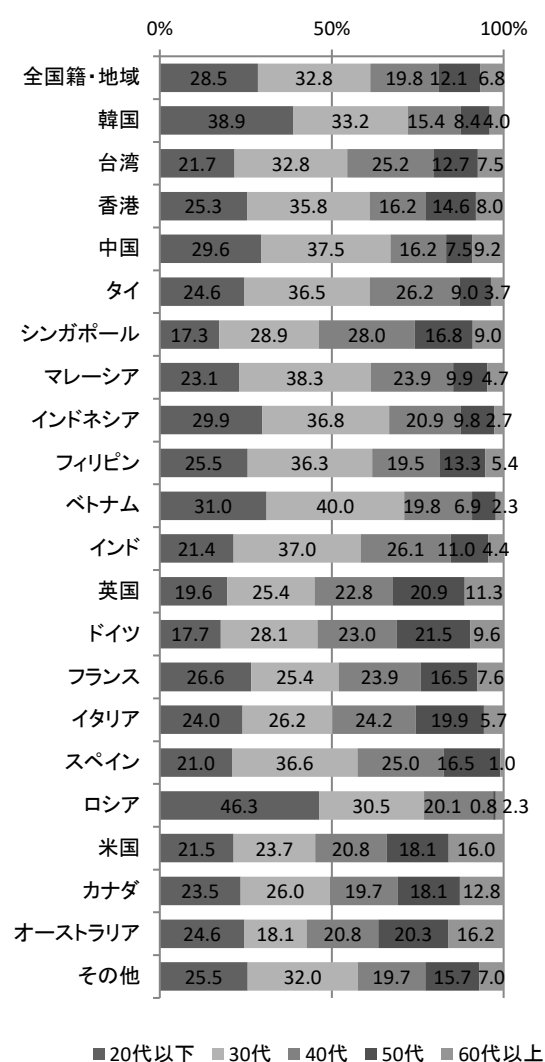
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が 63.6%、「女性」が 36.4%である（図表 1-1）。
- 国籍・地域別にみると、タイでは「女性」の割合が 5 割を超え、インド、ドイツでは「男性」の割合が 8 割を超える。
- 年代別の構成比は、「30 代」（32.8%）、「20 代以下」（28.5%）が多い（図表 1-2）。（注：年代別構成比には調査対象外である 15 歳未満を含まない。）
- 性年代別では「男性 30 代」（21.7%）、「男性 20 代」（14.8%）、「男性 40 代」（13.6%）の順で多い。

図表 1-1 性別（国籍・地域別、全目的）

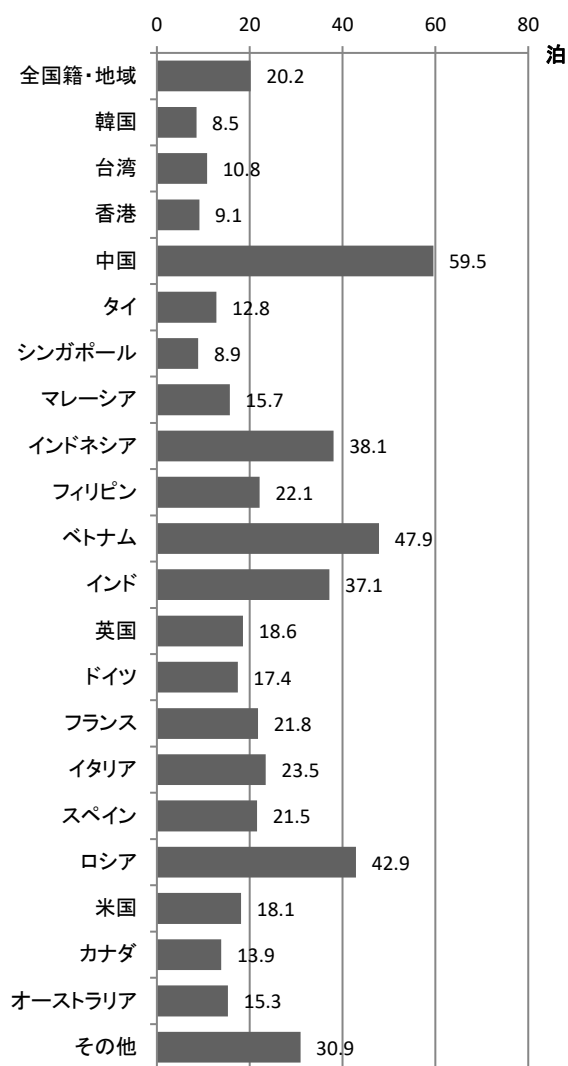


図表 1-2 年代（国籍・地域別、全目的）

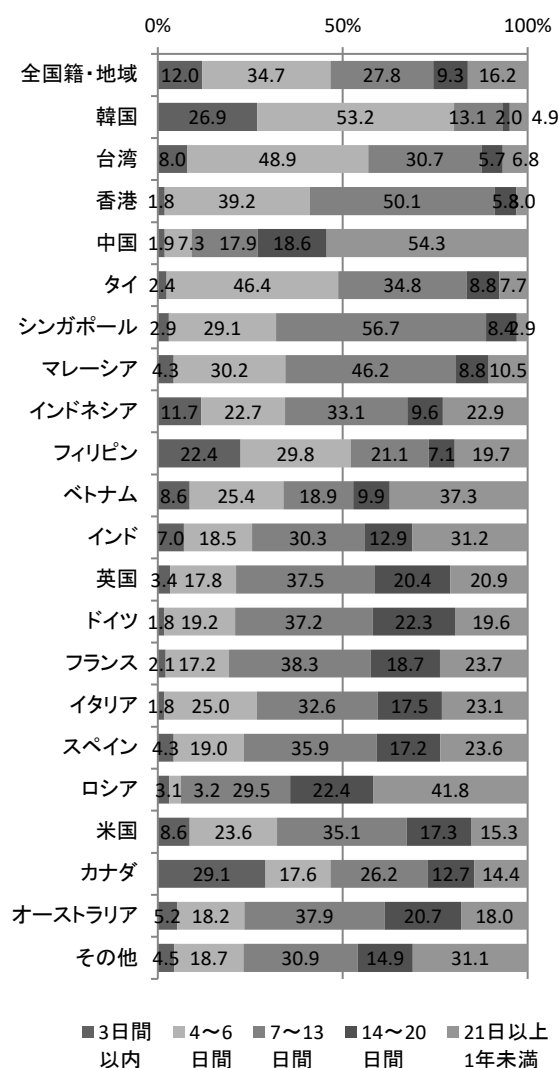


- 回答者全体の平均泊数は 20.2 泊である（図表 1-3）。
- 国籍・地域別にみると、中国やベトナム、ロシアで平均泊数が 40 泊超と長い。一方で韓国や香港、シンガポールは平均泊数が 10 泊未満と他の国籍・地域に比べて短い。
- 滞在日数の分布をみると、4～6 日間（34.7%）が最も多い（図表 1-4）。
- 国籍・地域別にみると、韓国やフィリピン、カナダでは「3 日間以内」の割合が 2 割超と他の国籍・地域に比べて高い。一方、中国では「21 日以上 1 年未満」の滞在者が 5 割超を占めており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向にある。

図表 1-3 平均泊数（国籍・地域別、全目的）

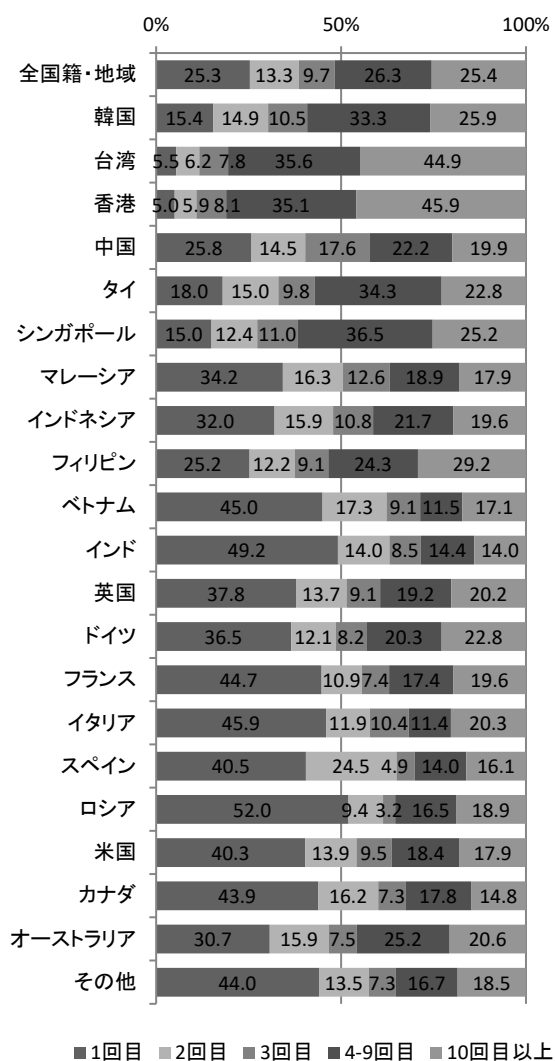


図表 1-4 滞在日数（国籍・地域別、全目的）

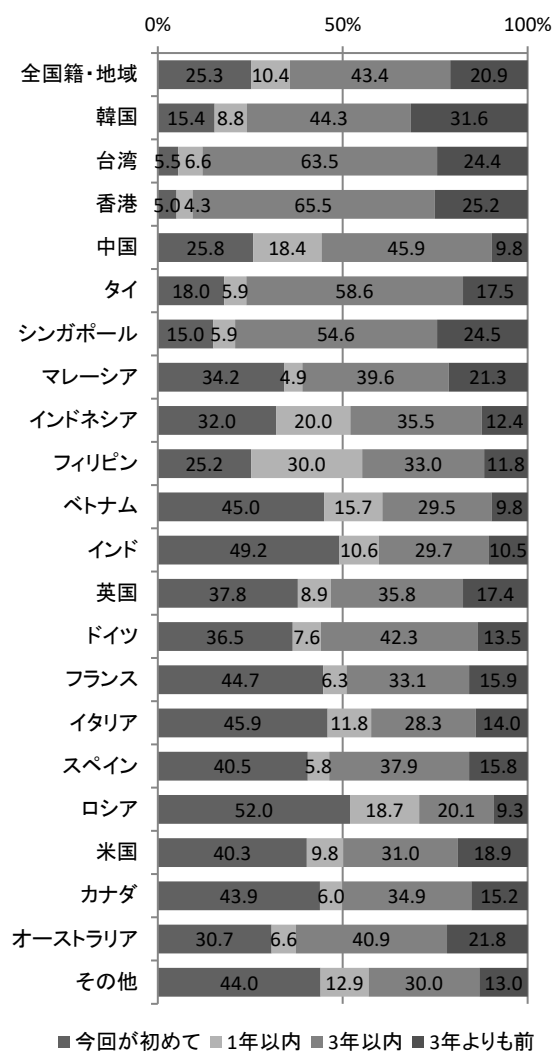


- 日本への来訪回数では、「4-9 回」が 26.3%と最も多い。一方で「1 回目」も 25.3%を占める（図表 1-5）。
- 国籍・地域別では、ロシアやインドで「1 回目」の割合が約 5 割と高い。一方、台湾や香港では「1 回目」の割合が 1 割未満と他の国籍・地域に比べ低い。
- 前回の日本への来訪時期では、「3 年以内」が 43.4%と多い（図表 1-6）。
- 国籍・地域別では、台湾や香港で「3 年以内」の割合が 6 割超と他の国籍・地域に比べ高い。

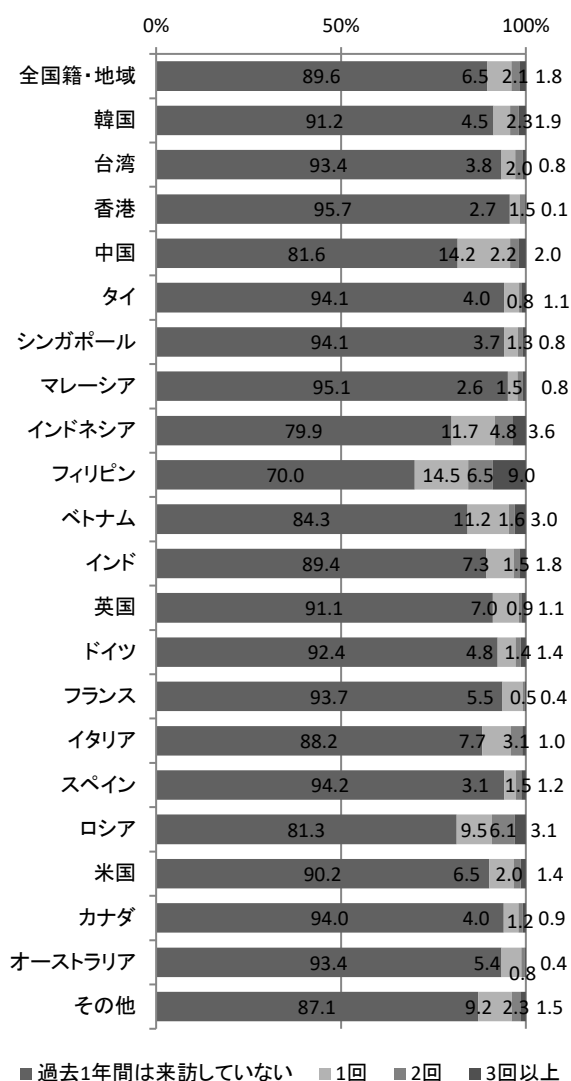
図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）



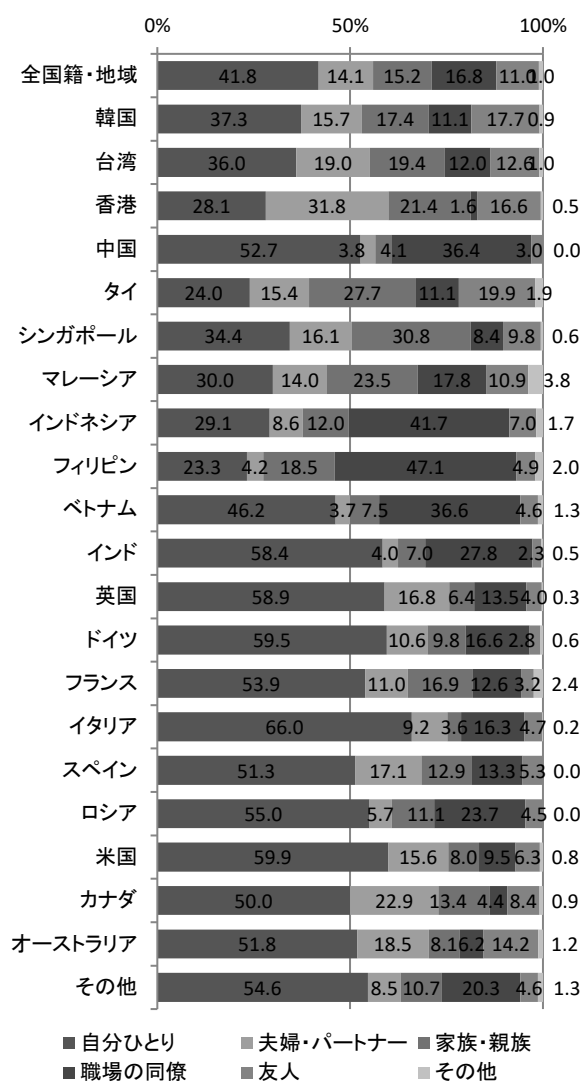
図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）



- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が89.6%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、過去1年間に1回以上来訪している割合はフィリピンが最も高く3割、中国やインドネシア、ロシアは約2割と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「自分ひとり」が41.8%と最も多い。次いで「職場の同僚」（16.8%）、「家族・親族」（15.2%）、「夫婦・パートナー」（14.1%）、「友人」（11.0%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、イタリアで「自分ひとり」の割合が6割以上と、他の国籍・地域に比べて高い。

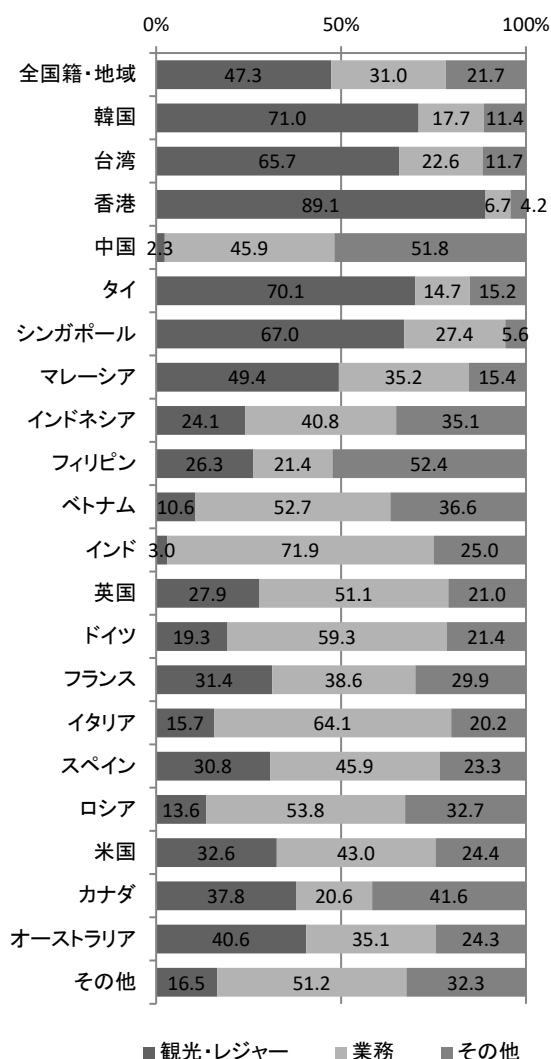
図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、全目的）

図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

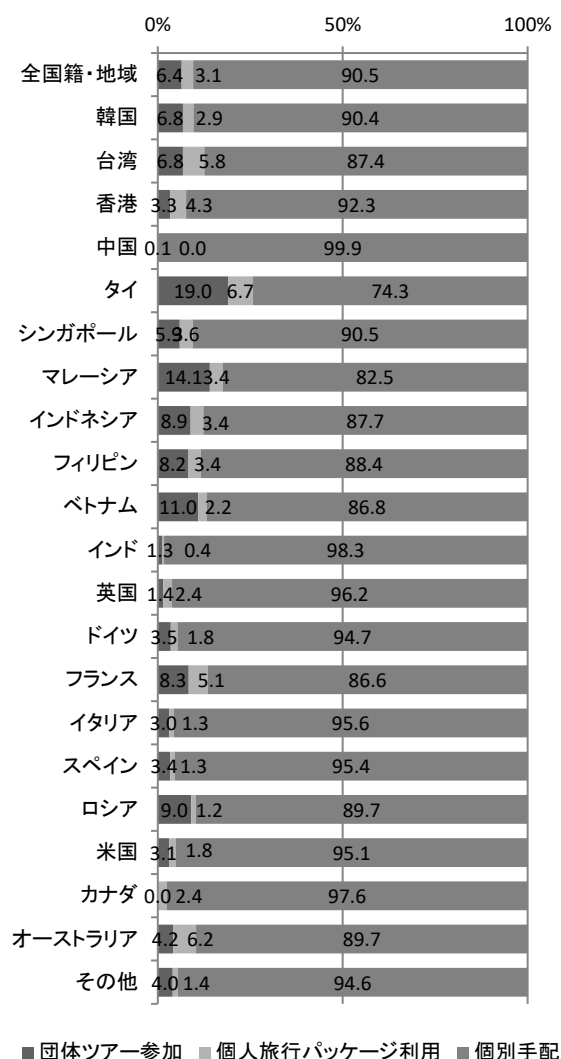


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の 47.3%を占める。一方、「業務(展示会・見本市／国際会議／企業ミーティング／研修／その他ビジネス)」は全体の 31.0%を占める(図表 1-9)。
- 国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が香港で約 9 割、韓国や台湾、タイ、シンガポールで約 7 割と高い。「業務」はインドで 7 割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、団体ツアー参加)」が 6.4%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、個人旅行パッケージ利用)」が 3.1%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、個別手配)」が 90.5%を占める(図表 1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

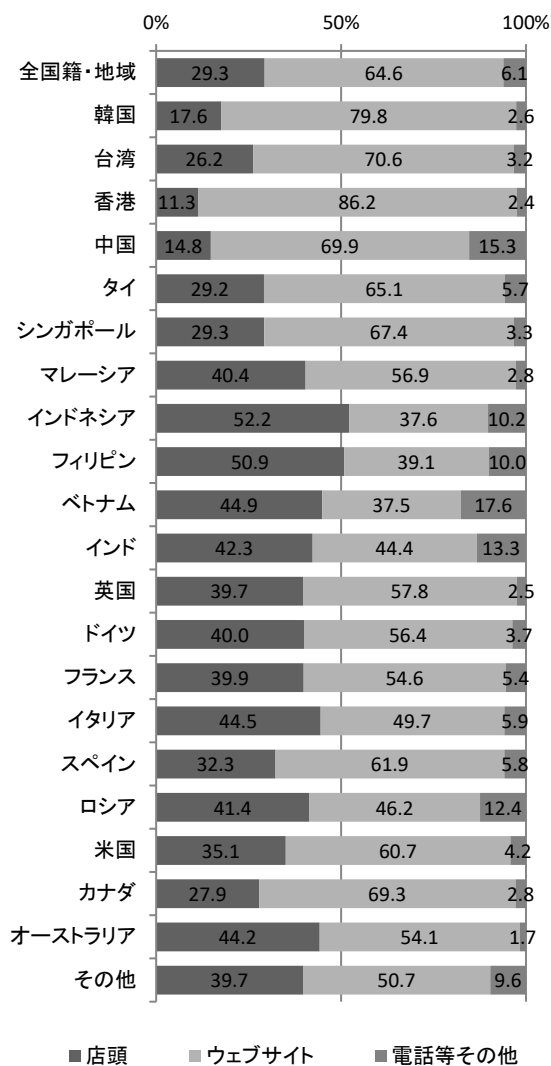


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



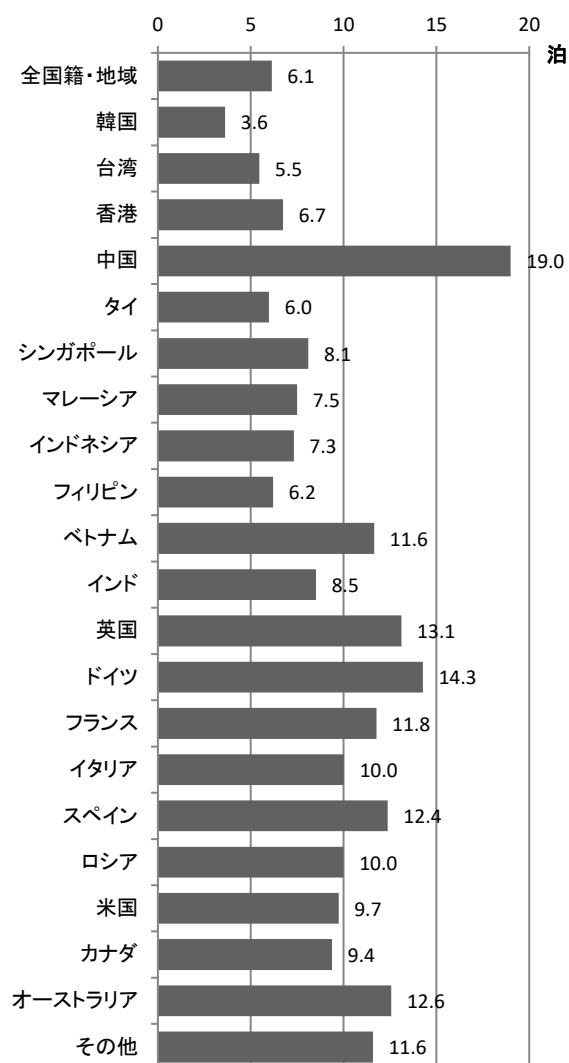
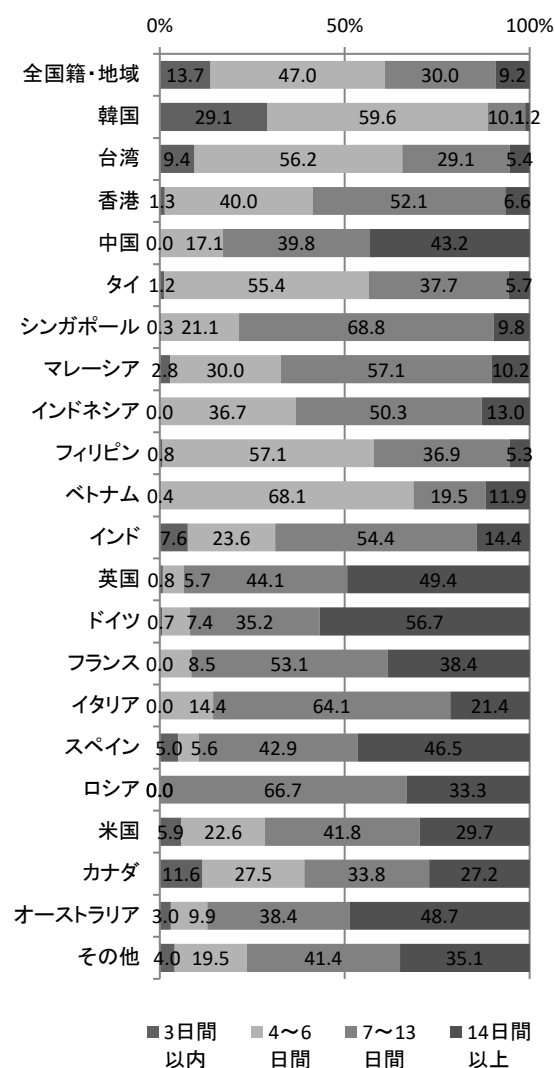
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の 29.3%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が全体の 64.6%を占める（図表 1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がインドネシアとフィリピンで 5 割超と高い。

図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）



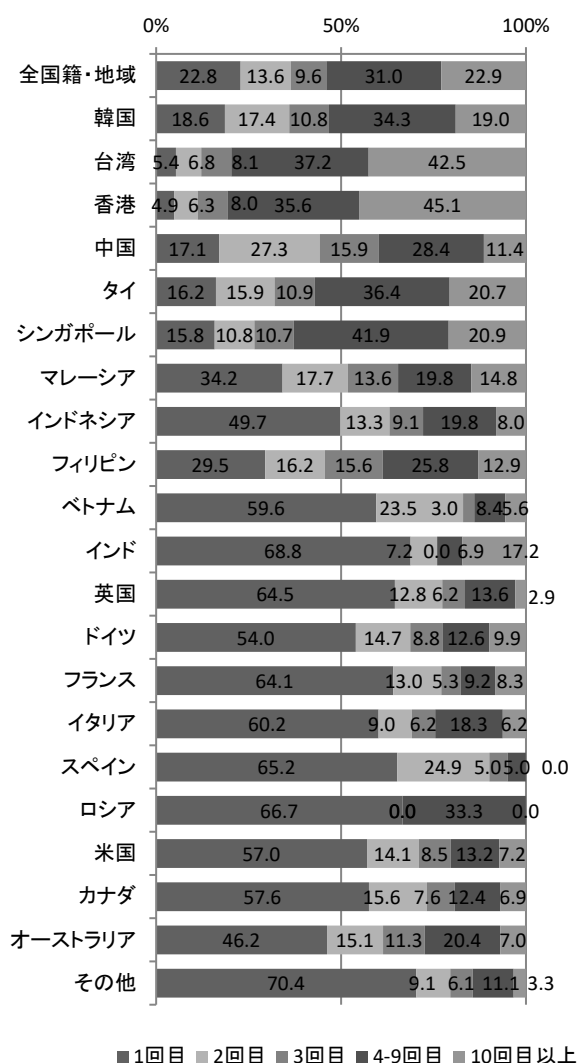
(2) 観光・レジャー目的

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は6.1泊である(図表 1-12)。
- 国籍・地域別にみると、中国やベトナム、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、オーストラリアで平均泊数が長く、10泊以上となっている。
- 滞在日数では、「4～6日間」が47.0%と最も多い(図表 1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」が29.1%と他の国籍・地域に比べて多い。「14日間以上」の割合はドイツで5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

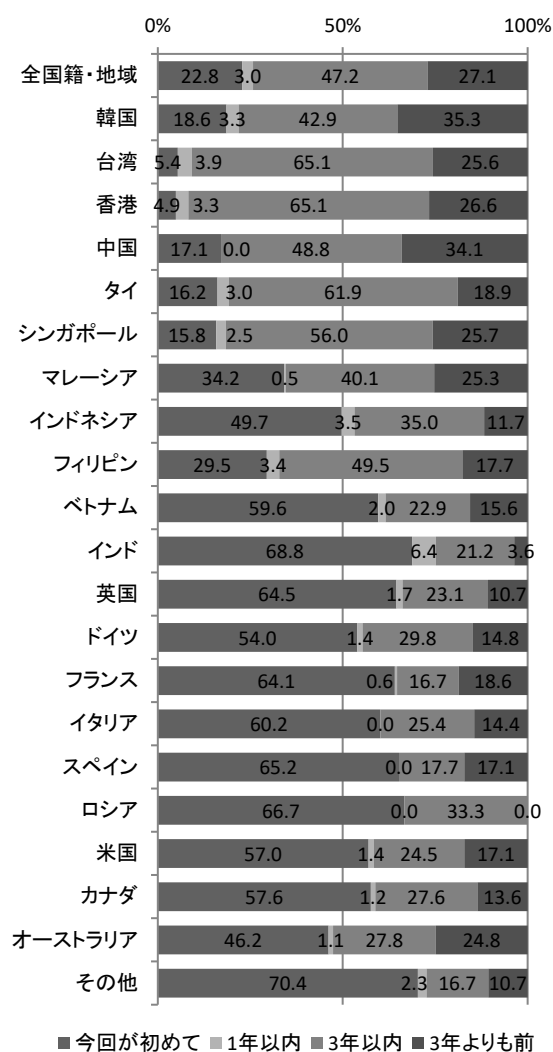
図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

- 日本への来訪回数では、訪日リピーターの割合が 77.2%であり、そのうち「4-9 回目」が 31.0%と最も多い。一方で「1 回目」も 22.8%を占める（図表 1-14）。
- 国籍・地域別では、「1 回目」の割合がインドやスペイン、ロシアで約 7 割と他の国籍・地域に比べ高い。一方、「10 回目以上」の割合は香港で 45.1%、台湾で 42.5%と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「3 年以内」が 47.2%と最も多い（図表 1-15）。
- 国籍・地域別では、インドやスペイン、ロシアで「今回が初めて」の割合が約 7 割と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

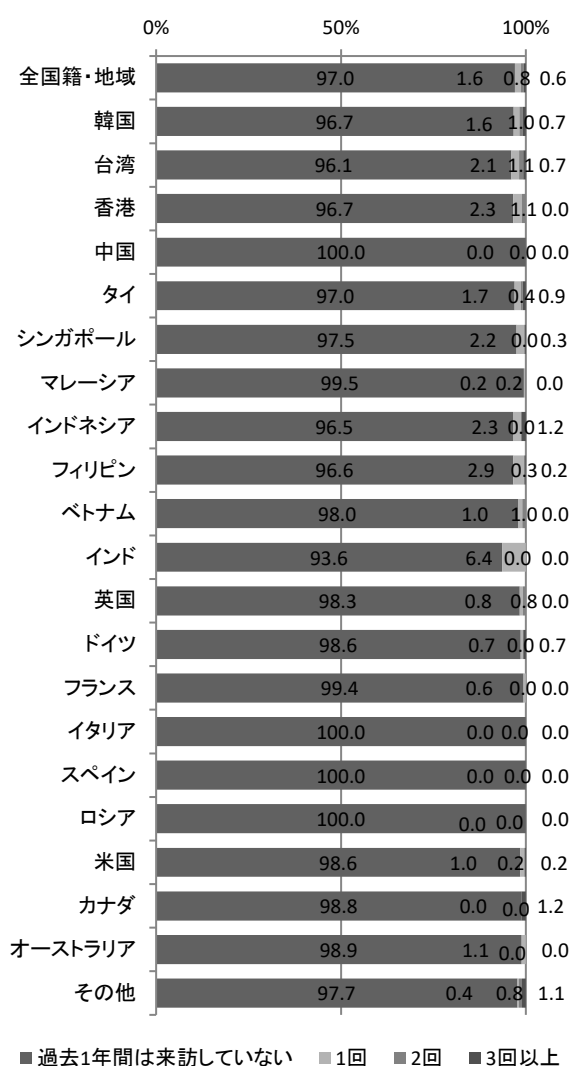


図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

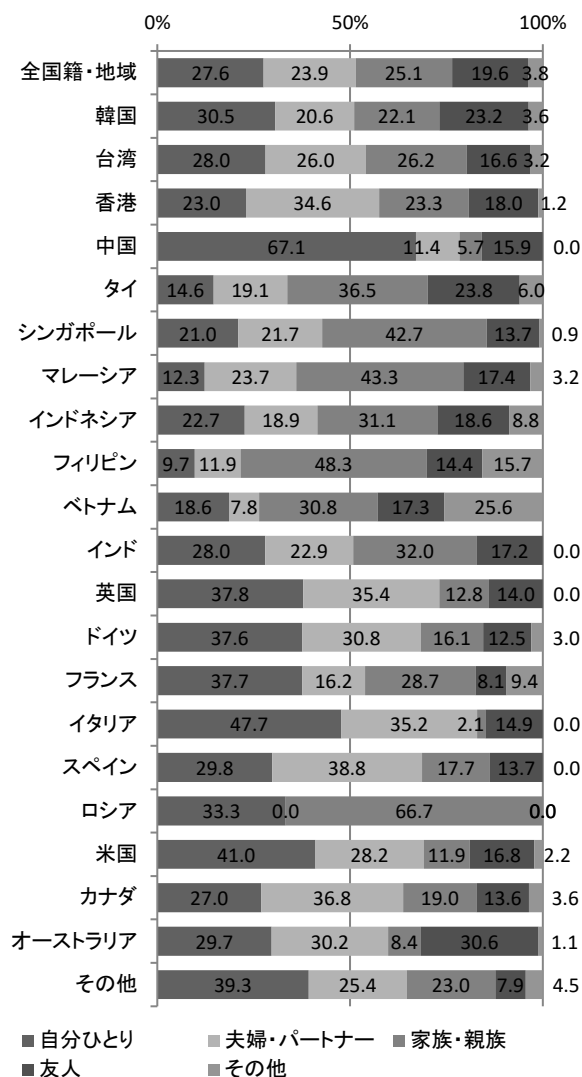


- 過去 1 年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去 1 年間は来訪していない」（0 回）が 97.0%を占める（図表 1-16）。
- 同行者は「自分ひとり」（27.6%）、「家族・親族」（25.1%）、「夫婦・パートナー」（23.9%）、「友人」（19.6%）の順となっている（図表 1-17）。
- 国籍・地域別では、中国で「自分ひとり」の割合が約 7 割と他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-16 過去 1 年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）

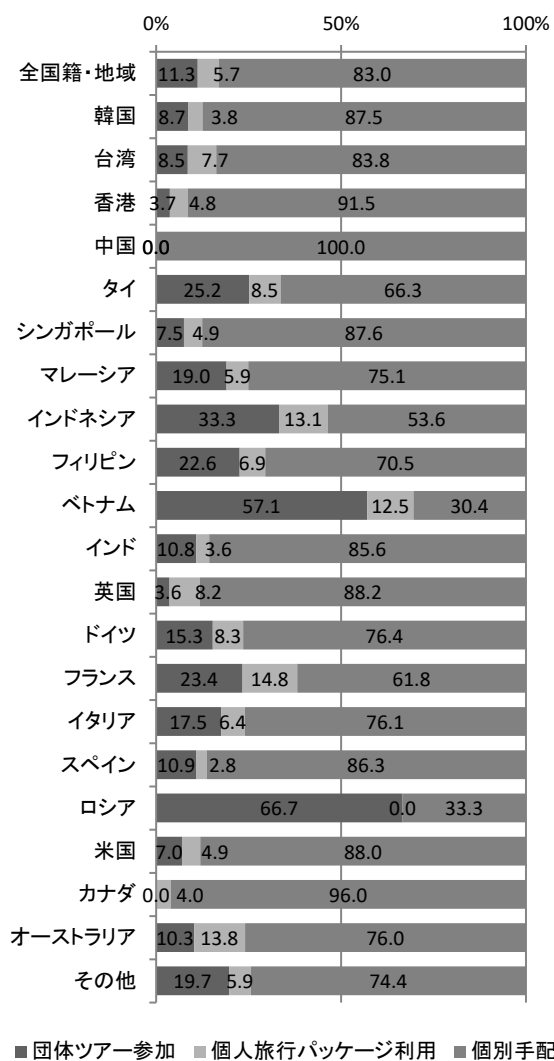


図表 1-17 同行者
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）

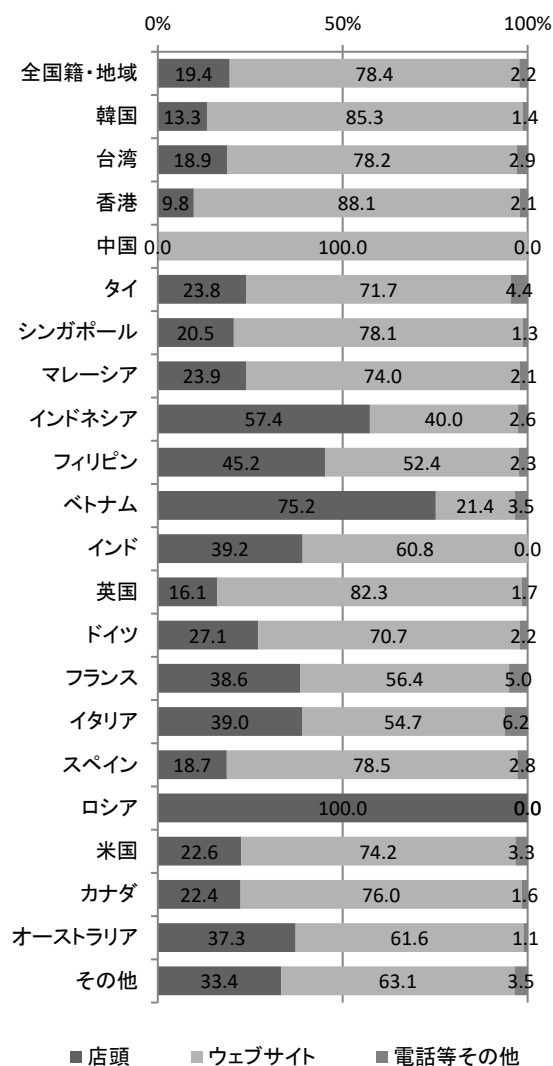


- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が11.3%、「個人旅行パッケージ利用」が5.7%、「個別手配」が83.0%を占める（図表 1-18）。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が19.4%、「ウェブサイト」の割合が78.4%を占める（図表 1-19）。

図表 1-18 旅行手配方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



図表 1-19 申込方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

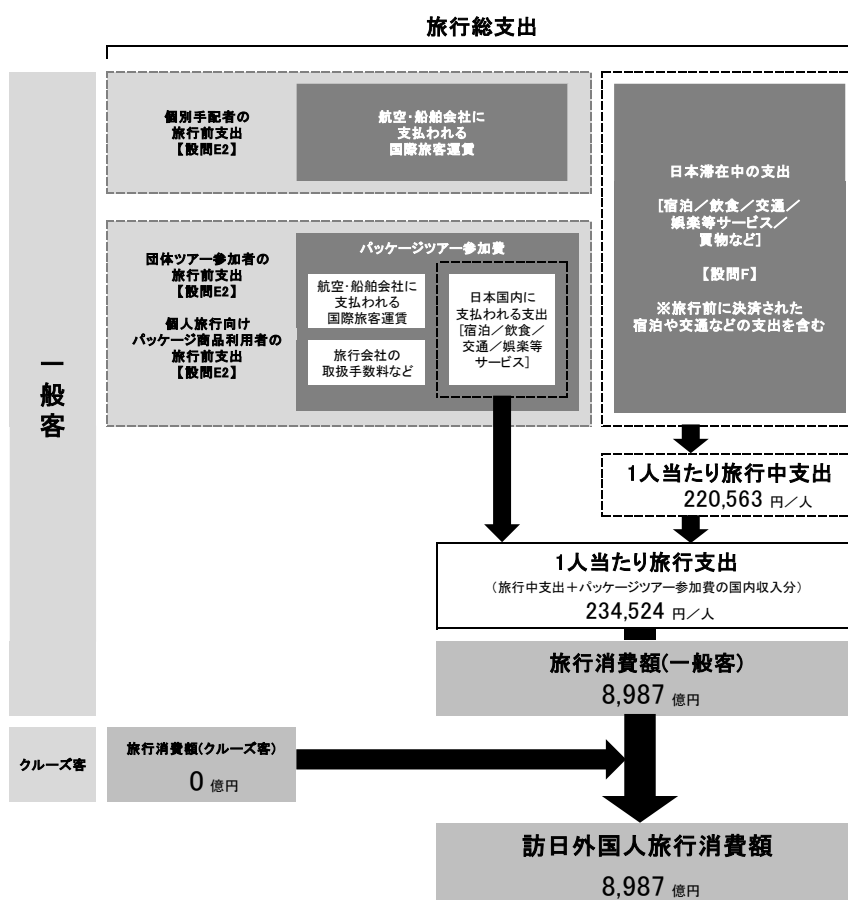
- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- 旅行前支出は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- 旅行中支出とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人

注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人

注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 訪日外国人消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。

（２）旅行前支出

- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は１人当たり平均 260,078 円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は１人当たり平均 241,686 円であった（図表 2-2）。

- **個別手配者**の国際旅客運賃（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客１人当たり平均 138,004 円であった。

（３）旅行中支出

- 一般客が日本滞在中に支出した**旅行中支出**は１人当たり平均 220,563 円であった。旅行手配方法別では、**団体ツアー参加者**では１人当たり平均 80,117 円、**個人旅行パッケージ利用者**では１人当たり平均 119,314 円、**個別手配者**では１人当たり平均 234,011 円であった（図表 2-3）。
- 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客 １ 人当たり平均 369,627 円であった（図表 2-4）。

図表 2-2 一般客 1 人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】

国籍・地域	(%)	(円/人)
国籍・地域	団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価
全国籍・地域	6.4%	260,078
韓国	6.8%	97,512
台湾	6.8%	202,144
香港	3.3%	264,517
中国	0.1%	580,000
タイ	19.0%	186,637
シンガポール	5.9%	404,728
マレーシア	14.1%	262,633
インドネシア	8.9%	212,645
フィリピン	8.2%	226,283
ベトナム	11.0%	287,699
インド	1.3%	304,637
英国	1.4%	865,070
ドイツ	3.5%	606,325
フランス	8.3%	561,398
イタリア	3.0%	986,348
スペイン	3.4%	663,719
ロシア	9.0%	298,148
米国	3.1%	755,624
カナダ	0.0%	-
オーストラリア	4.2%	818,345
その他	4.0%	515,338

【個人旅行パッケージ利用者】

国籍・地域	(%)	(円/人)
国籍・地域	個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価
全国籍・地域	3.1%	241,686
韓国	2.9%	83,074
台湾	5.8%	126,805
香港	4.3%	158,346
中国	0.0%	-
タイ	6.7%	169,885
シンガポール	3.6%	297,704
マレーシア	3.4%	253,907
インドネシア	3.4%	316,352
フィリピン	3.4%	255,961
ベトナム	2.2%	218,041
インド	0.4%	516,498
英国	2.4%	728,454
ドイツ	1.8%	511,061
フランス	5.1%	472,053
イタリア	1.3%	445,086
スペイン	1.3%	721,806
ロシア	1.2%	492,149
米国	1.8%	680,727
カナダ	2.4%	250,989
オーストラリア	6.2%	692,771
その他	1.4%	520,114

【個別手配者】

国籍・地域	(%)	(円/人)
国籍・地域	個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価
全国籍・地域	90.5%	138,004
韓国	90.4%	47,970
台湾	87.4%	83,919
香港	92.3%	100,729
中国	99.9%	292,345
タイ	74.3%	114,512
シンガポール	90.5%	136,919
マレーシア	82.5%	145,917
インドネシア	87.7%	129,314
フィリピン	88.4%	111,729
ベトナム	86.8%	97,224
インド	98.3%	165,335
英国	96.2%	290,888
ドイツ	94.7%	274,866
フランス	86.6%	222,465
イタリア	95.6%	210,830
スペイン	95.4%	197,610
ロシア	89.7%	174,211
米国	95.1%	261,724
カナダ	97.6%	197,019
オーストラリア	89.7%	173,296
その他	94.6%	220,137

図表 2-3 一般客 1 人当たり旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	b.平均泊数	c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	220,563	80,117	119,314	234,011	20.2	10,908	13,666	15,458	10,800
韓国	127,273	52,785	72,355	134,585	8.5	14,927	16,930	20,989	14,803
台湾	216,713	79,490	141,323	232,442	10.8	20,089	13,762	26,936	20,129
香港	273,083	128,140	201,501	281,658	9.1	29,872	22,608	32,098	29,959
中国	576,773	80,822	-	577,286	59.5	9,687	5,773	-	9,688
タイ	174,976	81,550	106,599	205,100	12.8	13,672	18,418	16,715	13,212
シンガポール	240,785	77,654	82,436	257,684	8.9	27,026	10,607	11,646	28,363
マレーシア	186,311	70,411	63,792	211,213	15.7	11,846	12,736	11,502	11,803
インドネシア	174,556	46,529	86,569	190,996	38.1	4,586	8,987	3,769	4,548
フィリピン	118,123	64,911	116,989	123,093	22.1	5,338	10,093	4,039	5,280
ベトナム	198,056	102,928	156,836	211,121	47.9	4,138	15,794	28,831	3,898
インド	261,871	53,211	84,361	265,267	37.1	7,051	4,690	14,456	7,056
英国	285,702	96,360	114,224	292,815	18.6	15,383	6,812	8,875	15,591
ドイツ	232,523	68,134	91,167	241,318	17.4	13,343	5,686	7,351	13,615
フランス	231,139	41,325	113,432	256,367	21.8	10,622	3,982	8,758	10,967
イタリア	270,205	48,689	99,932	279,637	23.5	11,514	4,260	10,907	11,627
スペイン	287,553	34,382	28,927	299,923	21.5	13,348	3,016	1,819	13,648
ロシア	417,825	801,890	159,178	382,606	42.9	9,737	100,236	14,471	8,164
米国	276,437	137,189	150,777	283,336	18.1	15,246	10,671	13,845	15,365
カナダ	201,735	-	79,843	204,760	13.9	14,558	-	9,320	14,638
オーストラリア	279,937	72,678	192,397	295,606	15.3	18,264	4,889	18,681	18,835
その他	259,760	104,237	101,826	268,653	30.9	8,397	10,154	9,905	8,366

図表 2-4 一般客 1 人当たり旅行総支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	b.平均泊数	c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	369,627	340,194	360,999	372,014	20.2	18,281	58,031	46,771	17,169
韓国	179,597	150,297	155,429	182,554	8.5	21,063	48,206	45,088	20,079
台湾	311,192	281,634	268,128	316,361	10.8	28,846	48,759	51,105	27,397
香港	381,751	392,657	359,847	382,386	9.1	41,758	69,277	57,321	40,674
中国	869,415	660,822	-	869,631	59.5	14,602	47,202	-	14,594
タイ	306,929	268,187	276,484	319,611	12.8	23,982	60,571	43,353	20,588
シンガポール	399,291	482,382	380,140	394,603	8.9	44,817	65,892	53,701	43,434
マレーシア	352,383	333,043	317,700	357,130	15.7	22,405	60,243	57,285	19,957
インドネシア	317,696	259,173	402,921	320,310	38.1	8,346	50,060	17,541	7,628
フィリピン	244,163	291,194	372,950	234,822	22.1	11,035	45,280	12,876	10,072
ベトナム	318,840	390,627	374,877	308,345	47.9	6,662	59,939	68,912	5,693
インド	430,280	357,848	600,859	430,602	37.1	11,585	31,544	102,964	11,453
英国	595,362	961,430	842,678	583,703	18.6	32,056	67,963	65,475	31,080
ドイツ	523,278	674,459	602,228	516,184	17.4	30,028	56,287	48,561	29,123
フランス	494,611	602,724	585,485	478,832	21.8	22,730	58,078	45,206	20,483
イタリア	507,768	1,035,038	545,018	490,467	23.5	21,637	90,553	59,485	20,393
スペイン	507,497	698,101	750,733	497,533	21.5	23,557	61,237	47,213	22,640
ロシア	607,122	1,100,038	651,327	556,817	42.9	14,148	137,505	59,212	11,881
米国	560,946	892,813	831,504	545,060	18.1	30,937	69,447	76,350	29,557
カナダ	400,061	-	330,832	401,778	13.9	28,870	-	38,619	28,722
オーストラリア	512,192	891,023	885,168	468,903	15.3	33,417	59,944	85,946	29,876
その他	495,871	619,575	621,939	488,791	30.9	16,029	60,354	60,500	15,221

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
パッケージ内訳は1人当たり平均13,960円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均234,524円と推計され、2022年の一般客の旅行消費額は8,987億円と推計される。
- 2022年はクルーズの就航はなかったため、2022年の訪日外国人旅行消費額は8,987億円と推計される。

図表2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

		(円／人)		(円／人)		(円／人)		(人)		(億円)		(円／人)		(人)		(億円)		(億円)	
		一 般 客										クルーズ客							
		a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を 含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳 を含む) (=a+b)		d. 一般客数		e. 旅行 消費額 (=c×d)		f. 旅行中 支出		g. クルーズ 客数		h. 旅行 消費額 (=f×g)		k. 訪日外国人 旅行消費額 (=e+h)	
				注1														注4,5	
		2019年比		2019年比		2019年比												2019年比	
暦 年	2019年	137,948	—	20,583	—	158,531	—	29,855,742	47,331			39,710	2,026,307	805			48,135	—	
	2022年	220,563	59.9%	13,960	−32.2%	234,524	47.9%	3,832,110	8,987			—	0	0			8,987	−81.3%	
四 半 期	2019年1−3月期	130,034	—	17,379	—	147,413	—	7,693,723	11,342			48,631	360,074	175			11,517	—	
	2019年4−6月期	134,203	—	20,764	—	154,967	—	8,050,409	12,475			37,244	529,408	197			12,673	—	
	2019年7−9月期	140,952	—	21,907	—	162,860	—	7,093,271	11,552			38,473	690,935	266			11,818	—	
	2019年10−12月期	147,883	—	22,551	—	170,434	—	7,018,339	11,962			37,352	445,890	167			12,128	—	
	2022年1−3月期	349,401	168.7%	331	−98.1%	349,732	137.2%	100,606	352			—	0	0			352	−96.9%	
	2022年4−6月期	255,034	90.0%	2,159	−89.6%	257,193	66.0%	407,024	1,047			—	0	0			1,047	−91.7%	
	2022年7−9月期	302,589	114.7%	12,055	−45.0%	314,644	93.2%	521,121	1,640			—	0	0			1,640	−86.1%	
	2022年10−12月期	195,687	32.3%	16,517	−26.8%	212,204	24.5%	2,803,359	5,949			—	0	0			5,949	−51.0%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者（参加費0円）も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数（日本政府観光局、暫定値）からクルーズ客数を控除した値。

注3) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数（法務省「出入国管理統計」）

注4) 2022年1-3月期、2022年4-6月期、2022年7-9月期、2022年暦年の訪日外国人旅行消費額は試算値。

注5) 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年4-6月期から2021年7-9月期は調査を中止し、2020年及び2021年暦年については、

1 四半期の結果を利用した試算を行った結果、7,446億円（2020年）、1,208億円（2021年）となった。このため、2019年の数値との比較には留意が必要である。

なお、2020年及び2021年暦年については本表への掲載は割愛している。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①韓国 1,352 億円（構成比 15.0%）、②中国 1,092 億円（同 12.1%）、③米国 959 億円（同 10.7%）、④香港 762 億円（同 8.5%）、⑤台湾 759 億円（同 8.4%）の順となっている。
- 前述の上位 5 ケ国・地域合計で 4,922 億円（構成比 54.8%）を占める。エリア別では、東アジア 4 ケ国・地域（韓国、台湾、香港、中国）合計で 3,964 億円（同 44.1%）、東南アジア 6 ケ国（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）合計で 1,913 億円（同 21.3%）、欧州 5 ケ国（英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）合計で 547 億円（同 6.1%）となっている。

図表 2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額（国籍・地域別）

2022年暦年	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数 (クルーズ客を除く)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c × d)		
	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)		
	2019年比		注1		2019年比		注2		構成比	2019年比	
全国籍・地域	220,563	59.9%	13,960	234,524	47.9%		3,832,110	-87.2%	8,987	100.0%	-81.0%
韓国	127,273	85.7%	6,176	133,450	75.3%		1,012,751	-81.8%	1,352	15.0%	-68.1%
台湾	216,713	130.6%	12,497	229,210	93.8%		331,097	-92.8%	759	8.4%	-86.1%
香港	273,083	97.1%	9,830	282,912	81.4%		269,285	-88.0%	762	8.5%	-78.3%
中国	576,773	210.4%	368	577,141	171.2%		189,125	-97.6%	1,092	12.1%	-93.6%
タイ	174,976	54.3%	25,706	200,682	52.7%		198,037	-85.0%	397	4.4%	-77.0%
シンガポール	240,785	47.3%	21,098	261,883	50.8%		131,969	-73.1%	346	3.8%	-59.4%
マレーシア	186,311	61.0%	23,239	209,550	57.3%		74,095	-85.1%	155	1.7%	-76.6%
インドネシア	174,556	50.0%	17,586	192,142	46.6%		119,723	-70.8%	230	2.6%	-57.2%
フィリピン	118,123	19.5%	13,666	131,789	22.1%		126,842	-79.2%	167	1.9%	-74.6%
ベトナム	198,056	32.6%	19,439	217,495	22.8%		284,113	-42.5%	618	6.9%	-29.4%
インド	261,871	80.5%	3,078	264,949	68.5%		54,314	-68.7%	144	1.6%	-47.3%
英国	285,702	45.0%	15,835	301,537	25.0%		57,496	-86.1%	173	1.9%	-82.6%
ドイツ	232,523	25.2%	16,357	248,879	23.5%		45,748	-80.1%	114	1.3%	-75.4%
フランス	231,139	9.4%	39,290	270,429	13.9%		52,782	-84.3%	143	1.6%	-82.1%
イタリア	270,205	69.2%	20,133	290,338	45.6%		23,683	-85.4%	69	0.8%	-78.7%
スペイン	287,553	53.6%	18,204	305,757	38.1%		15,926	-87.7%	49	0.5%	-83.1%
ロシア	417,825	153.9%	25,526	443,351	142.2%		10,324	-91.3%	46	0.5%	-78.9%
米国	276,437	61.3%	19,842	296,279	56.4%		323,513	-81.0%	959	10.7%	-70.2%
カナダ	201,735	25.4%	3,130	204,865	12.7%		55,877	-84.8%	114	1.3%	-82.8%
オーストラリア	279,937	37.5%	48,065	328,001	32.3%		88,648	-85.5%	291	3.2%	-80.8%
その他	259,760	30.7%	15,392	275,153	24.2%		366,762	-73.2%	1,009	11.2%	-66.8%

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者（参加費0円）も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数（日本政府観光局、暫定値）からクルーズ客数を控除した値。

注3) 国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もあるため、留意されたい。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」はロシアで 15.9 万円、「買物代」は中国で 16.4 万円と高い（図表 2-7）。

図表 2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

(円/人)

国籍・地域	【費目別旅行支出】						
	旅行支出 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	234,524	80,139	53,034	24,008	15,590	61,605	147
韓国	133,450	42,175	34,164	11,618	12,771	32,492	229
台湾	229,210	61,080	43,574	19,909	7,115	97,435	98
香港	282,912	74,735	61,835	24,766	10,320	111,230	27
中国	577,141	152,082	113,228	36,923	110,932	163,976	0
タイ	200,682	57,291	46,788	23,586	5,929	67,087	0
シンガポール	261,883	94,370	55,332	29,086	6,901	76,128	66
マレーシア	209,550	82,333	44,551	25,108	7,761	49,589	209
インドネシア	192,142	73,809	42,710	22,865	6,803	45,464	491
フィリピン	131,789	48,051	28,550	13,054	2,997	39,116	20
ベトナム	217,495	67,324	51,830	22,875	9,669	65,797	0
インド	264,949	118,467	60,545	28,411	11,810	45,716	0
英国	301,537	139,717	66,331	36,316	7,921	51,174	78
ドイツ	248,879	114,257	58,115	37,081	7,815	31,519	92
フランス	270,429	110,496	62,880	37,376	15,807	43,870	0
イタリア	290,338	130,807	66,028	39,104	13,925	40,474	0
スペイン	305,757	123,760	76,527	41,870	25,616	37,984	0
ロシア	443,351	159,164	93,917	43,290	77,746	69,233	0
米国	296,279	133,148	69,254	37,037	8,541	48,248	52
カナダ	204,865	82,371	45,887	28,180	8,082	40,345	0
オーストラリア	328,001	129,761	74,062	42,128	14,792	67,258	0
その他	275,153	108,786	66,657	32,989	15,640	50,591	490

- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」は米国が最も高く 431 億円、「買物代」は韓国が最も高く 329 億円であった。（図表 2-8）
- 旅行消費額の費目別構成比をみると、インドや英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダでは「宿泊費」の割合が 4 割超と高い傾向がみられる。台湾では「買物代」が 42.5% と高い割合を占める。

図表 2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

(億円)														(%)
国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)						
	消費額 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービ ス費	買物代	その他	
全国籍・地域	8,987	3,071	2,032	920	597	2,361	6	34.2%	22.6%	10.2%	6.6%	26.3%	0.1%	
韓国	1,352	427	346	118	129	329	2	31.6%	25.6%	8.7%	9.6%	24.3%	0.2%	
台湾	759	202	144	66	24	323	0	26.6%	19.0%	8.7%	3.1%	42.5%	0.0%	
香港	762	201	167	67	28	300	0	26.4%	21.9%	8.8%	3.6%	39.3%	0.0%	
中国	1,092	288	214	70	210	310	0	26.4%	19.6%	6.4%	19.2%	28.4%	0.0%	
タイ	397	113	93	47	12	133	0	28.5%	23.3%	11.8%	3.0%	33.4%	0.0%	
シンガポール	346	125	73	38	9	100	0	36.0%	21.1%	11.1%	2.6%	29.1%	0.0%	
マレーシア	155	61	33	19	6	37	0	39.3%	21.3%	12.0%	3.7%	23.7%	0.1%	
インドネシア	230	88	51	27	8	54	1	38.4%	22.2%	11.9%	3.5%	23.7%	0.3%	
フィリピン	167	61	36	17	4	50	0	36.5%	21.7%	9.9%	2.3%	29.7%	0.0%	
ベトナム	618	191	147	65	27	187	0	31.0%	23.8%	10.5%	4.4%	30.3%	0.0%	
インド	144	64	33	15	6	25	0	44.7%	22.9%	10.7%	4.5%	17.3%	0.0%	
英国	173	80	38	21	5	29	0	46.3%	22.0%	12.0%	2.6%	17.0%	0.0%	
ドイツ	114	52	27	17	4	14	0	45.9%	23.4%	14.9%	3.1%	12.7%	0.0%	
フランス	143	58	33	20	8	23	0	40.9%	23.3%	13.8%	5.8%	16.2%	0.0%	
イタリア	69	31	16	9	3	10	0	45.1%	22.7%	13.5%	4.8%	13.9%	0.0%	
スペイン	49	20	12	7	4	6	0	40.5%	25.0%	13.7%	8.4%	12.4%	0.0%	
ロシア	46	16	10	4	8	7	0	35.9%	21.2%	9.8%	17.5%	15.6%	0.0%	
米国	959	431	224	120	28	156	0	44.9%	23.4%	12.5%	2.9%	16.3%	0.0%	
カナダ	114	46	26	16	5	23	0	40.2%	22.4%	13.8%	3.9%	19.7%	0.0%	
オーストラリア	291	115	66	37	13	60	0	39.6%	22.6%	12.8%	4.5%	20.5%	0.0%	
その他	1,009	399	244	121	57	186	2	39.5%	24.2%	12.0%	5.7%	18.4%	0.2%	

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均196,375円、「業務」は同279,610円、「その他」は同253,257円となっている（図表2-9）。

図表 2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー	業務 注1	その他 注2	MICE 関連 注3 (再掲)
旅行 支出 (円/人)	全国籍・地域	196,375	279,610	253,257	223,936
	韓国	106,935	168,082	245,335	135,636
	台湾	189,393	334,541	249,002	245,291
	香港	273,657	314,184	428,783	329,941
	中国	434,514	587,097	574,604	379,061
	米国	337,548	310,614	215,982	287,401

【参考】

一般客 目的別 構成比 (%) ヨコ計=100	全国籍・地域	47.3	31.0	21.7	12.2
	韓国	71.0	17.7	11.4	8.7
	台湾	65.7	22.6	11.7	8.8
	香港	89.1	6.7	4.2	2.0
	中国	2.3	45.9	51.8	6.3
	米国	32.6	43.0	24.4	12.1

回答数 注4	全国籍・地域	6,463	11,457	8,108	3,630
	韓国	1,640	1,365	938	552
	台湾	992	877	446	287
	香港	864	131	80	40
	中国	18	376	459	52
	米国	595	3,104	1,281	534

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」

「その他ビジネス」の回答の集計結果である。

注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」

「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」

「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。

注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」

「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。

注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（64.4%）、「その他食料品・飲料・たばこ」（40.8%）、「衣類」（33.1%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入率が高い費目は、韓国と台湾、香港、中国で「菓子類」（それぞれ 76.1%、74.5%、64.4%、70.2%）、米国で「その他食料品・飲料・たばこ」（46.2%）となっている。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の 1 人当たり平均支出）は、「宝石・貴金属」が 16.2 万円と最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入者単価が高い費目は、台湾の「宝石・貴金属」（106.9 万円）や香港の「時計・フィルムカメラ」（41.2 万円）となっている。

図表 3-1 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、全目的）

国籍・地域	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
費目	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)
菓子類	64.4%	11,866	76.1%	8,444	74.5%	13,923	64.4%	14,814	70.2%	17,507	42.1%	11,156
酒類	22.6%	14,104	31.0%	10,850	20.1%	12,660	17.0%	17,319	19.1%	33,360	26.5%	14,737
生鮮農産物	4.6%	24,203	1.9%	19,110	7.2%	15,114	11.6%	12,268	7.9%	32,411	3.6%	25,582
その他食料品・飲料・たばこ	40.8%	14,371	40.4%	8,075	37.4%	10,778	40.2%	12,692	44.0%	22,463	46.2%	17,980
化粧品・香水	19.4%	26,133	14.9%	11,929	27.0%	24,337	35.5%	26,965	49.1%	66,648	7.4%	18,171
医薬品	17.3%	15,869	23.0%	9,144	46.0%	23,614	35.5%	17,166	22.2%	23,110	2.4%	4,541
健康グッズ・トイレタリー	8.1%	17,289	6.8%	10,510	19.0%	22,584	13.4%	15,790	23.1%	23,296	2.9%	12,050
衣類	33.1%	31,408	22.5%	26,429	38.4%	37,407	55.9%	45,195	29.2%	55,861	31.2%	33,108
靴・かばん・革製品	18.9%	57,309	10.1%	48,384	24.2%	71,512	41.8%	69,814	23.2%	144,662	11.2%	39,695
電気製品	5.7%	59,877	1.7%	27,175	11.9%	54,226	5.0%	47,738	15.4%	106,047	3.9%	42,344
時計・フィルムカメラ	2.5%	115,392	0.5%	26,693	1.2%	206,651	2.1%	411,830	6.7%	232,764	1.6%	93,896
宝石・貴金属	1.5%	162,400	0.9%	98,086	0.9%	1,069,084	1.8%	158,494	2.0%	172,172	3.0%	60,070
民芸品・伝統工芸品	6.9%	17,890	2.7%	7,889	3.6%	58,787	4.7%	13,513	1.3%	20,247	17.9%	20,337
本・雑誌・ガイドブックなど	4.3%	10,534	3.1%	6,112	3.7%	23,687	6.3%	10,434	4.9%	16,768	6.3%	9,989
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	2.7%	22,352	2.7%	15,444	2.7%	18,189	4.3%	32,337	2.6%	37,414	3.4%	25,859
その他買物代	7.4%	30,425	7.4%	17,970	5.6%	73,878	9.7%	35,969	1.7%	147,434	11.9%	32,106

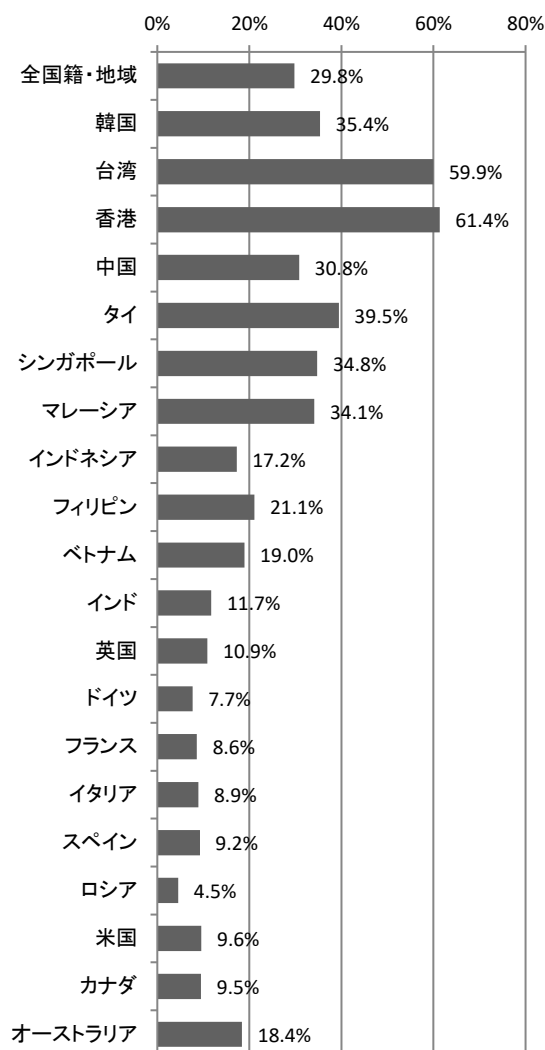
図表 3-2 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

国籍・地域	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
費目	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)	購入率	購入者単価 (円)
菓子類	72.1%	11,399	77.5%	7,987	74.8%	12,252	64.4%	14,784	54.5%	52,729	50.4%	11,023
酒類	24.5%	11,096	32.0%	9,475	18.9%	10,988	16.7%	16,683	11.4%	25,500	28.0%	15,516
生鮮農産物	4.7%	8,261	1.2%	6,187	8.2%	6,821	12.6%	10,853	0.0%	-	3.4%	5,304
その他食料品・飲料・たばこ	43.7%	9,519	43.2%	6,361	35.7%	8,393	41.0%	11,816	60.2%	28,769	52.2%	14,736
化粧品・香水	22.7%	19,032	15.9%	10,626	29.4%	22,777	36.8%	26,187	45.5%	48,836	10.9%	17,645
医薬品	24.3%	14,172	25.9%	8,198	48.1%	22,492	36.7%	16,938	11.4%	5,210	3.2%	3,345
健康グッズ・トイレタリー	9.9%	15,334	7.7%	9,532	20.6%	23,694	13.9%	15,993	5.7%	90,000	3.2%	13,751
衣類	38.7%	30,082	24.8%	24,354	43.7%	32,433	57.7%	43,109	22.7%	59,116	39.8%	31,038
靴・かばん・革製品	23.4%	53,988	11.1%	42,629	26.7%	62,460	43.1%	69,930	5.7%	79,950	15.3%	47,548
電気製品	5.0%	41,284	1.4%	16,362	12.3%	56,734	5.0%	39,284	5.7%	40,000	4.1%	26,658
時計・フィルムカメラ	1.9%	96,962	0.5%	22,969	1.1%	67,958	2.0%	373,431	0.0%	-	2.5%	94,520
宝石・貴金属	1.7%	121,202	0.8%	125,712	0.4%	122,282	1.8%	122,981	0.0%	-	4.3%	56,756
民芸品・伝統工芸品	7.2%	15,502	3.1%	7,625	3.7%	13,063	5.0%	13,518	0.0%	-	23.3%	22,656
本・雑誌・ガイドブックなど	4.2%	10,326	3.0%	4,992	2.7%	39,329	6.3%	8,353	5.7%	899	6.6%	8,367
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.3%	21,822	2.8%	13,462	2.2%	21,859	4.2%	35,629	11.4%	36,502	5.1%	20,216
その他買物代	9.2%	28,467	8.6%	17,119	6.6%	30,090	10.1%	36,373	5.7%	600,000	15.3%	39,183

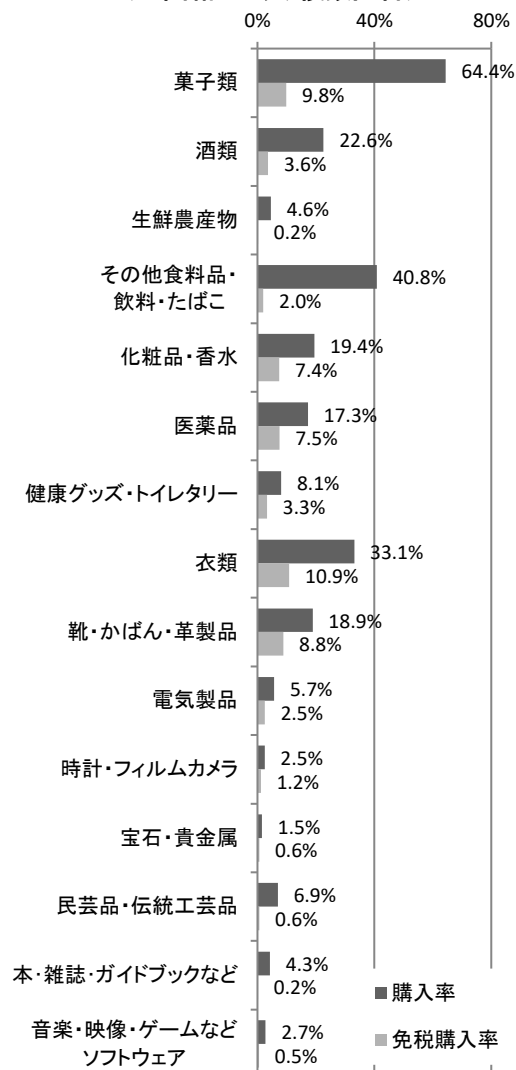
（３）消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に消費税免税手続きを実施した人の割合は全体の 29.8%である（図表 3-3）。
- 国籍・地域別にみると、台湾や香港で約 6 割と高い。一方、ドイツやフランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダでは 1 割未満と他の国籍・地域に比べて低い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合（費目別の免税購入率、分母は一般客全体）をみると、「衣類」（10.9%）が最も高く、次いで「菓子類」（9.8%）、「靴・かばん・革製品」（8.8%）、の順で高くなっている（図表 3-4）。

図表 3-3 消費税免税手続きの実施率
（国籍・地域別）



図表 3-4 費目別購入率と費目別の免税購入率
（全国籍・地域、複数回答）

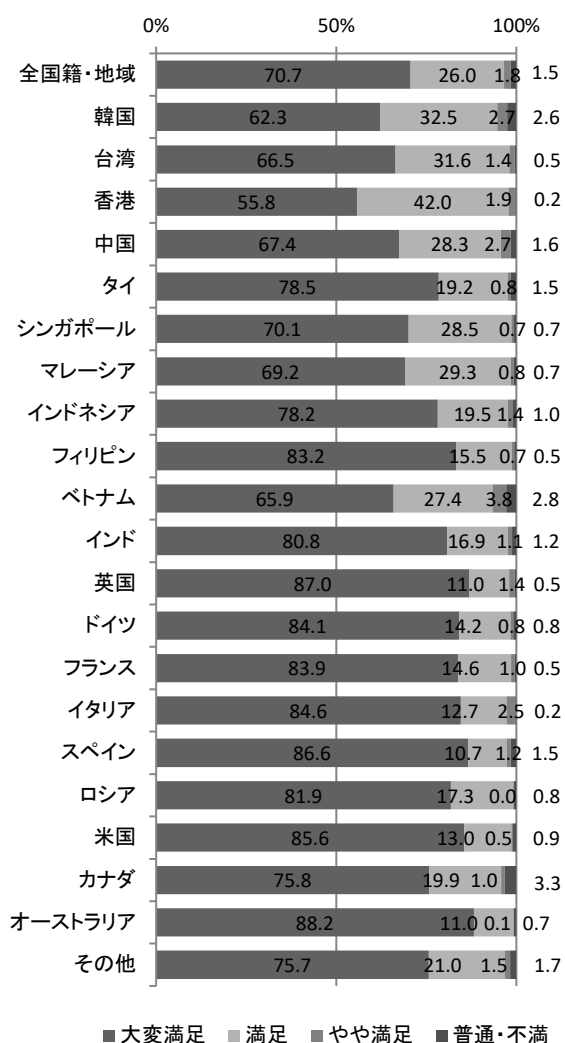


4. 満足度と再訪意向

(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」70.7%、「満足」26.0%である（図表 4-1）。
- 国籍・地域別では、フィリピンやインド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、オーストラリアで「大変満足」の割合が8割超と高い。

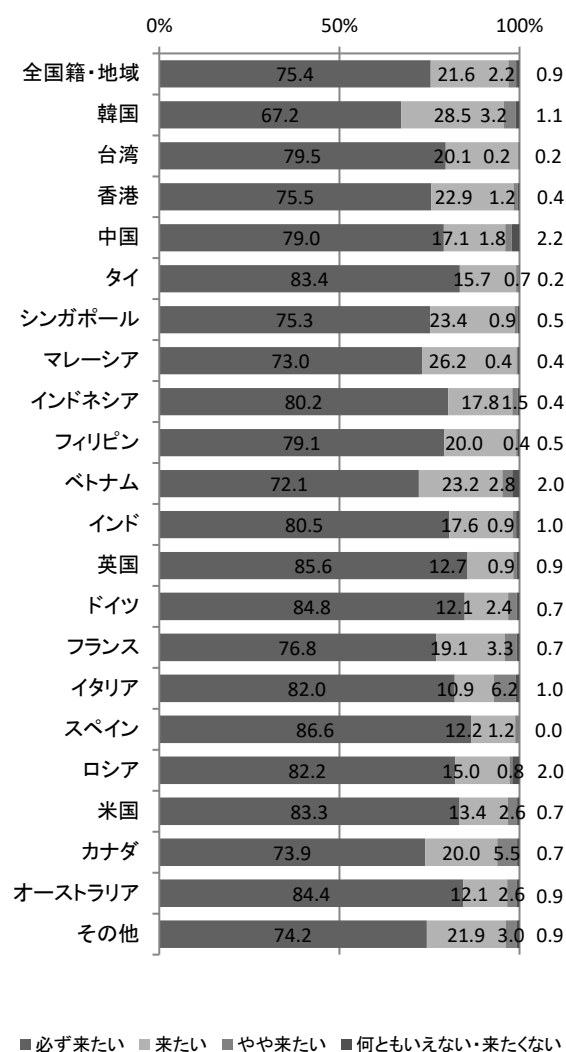
図表 4-1 訪日旅行全体の満足度（国籍・地域別）



(2) 日本への再訪意向

- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が75.4%、「来たい」が21.6%である（図表 4-2）。
- 国籍・地域別では、タイやインドネシア、インド、英国、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、米国、オーストラリアで「必ず来たい」の割合が8割超と高い。

図表 4-2 日本への再訪意向（国籍・地域別）

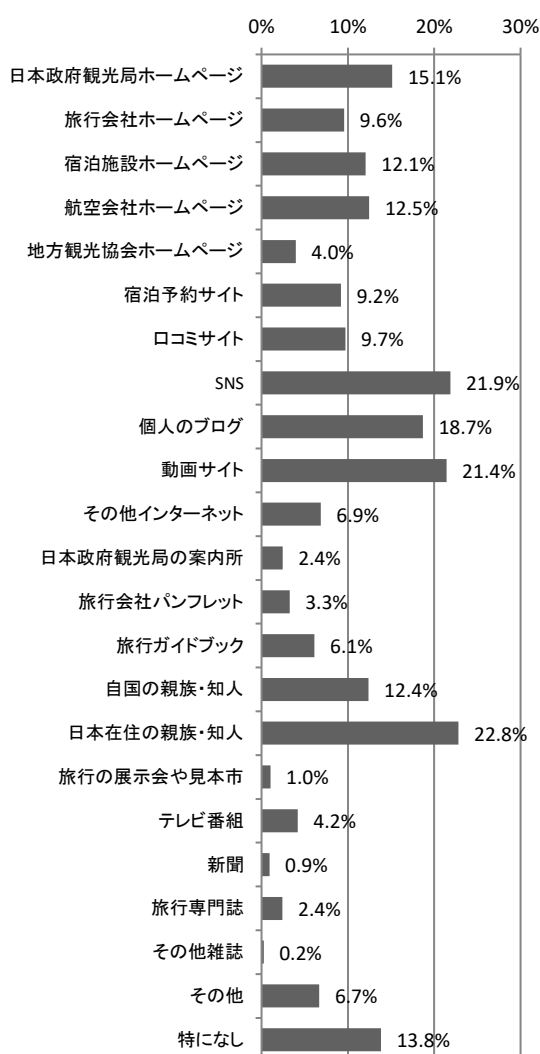


5. 旅行情報と旅行情報源

(1) 出発前に役に立った旅行情報源

- 出発前に役に立った旅行情報源では、「日本在住の親族・知人」(22.8%)、「SNS」(21.9%)、「動画サイト」(21.4%)の順で多い(図表 5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」の選択率は15.1%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は2.4%であった。

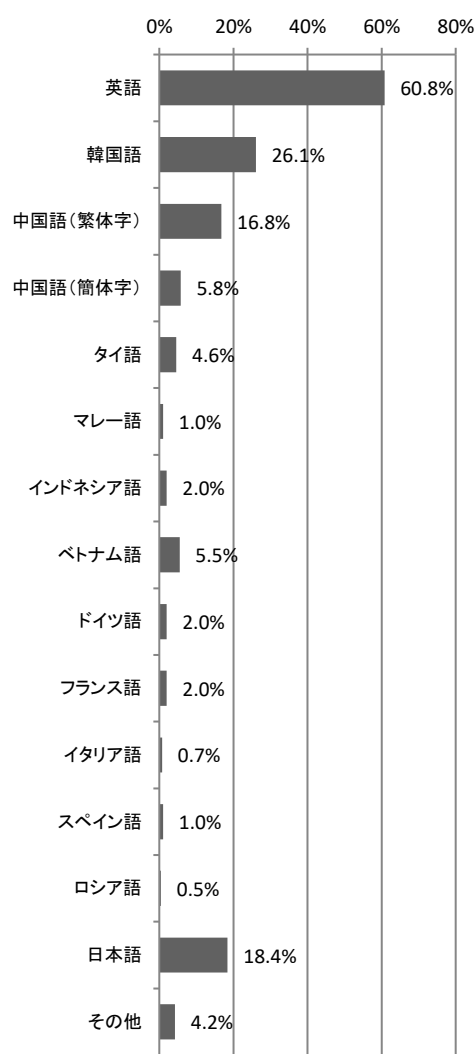
図表 5-1 出発前に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



(2) 出発前に旅行情報を得た言語

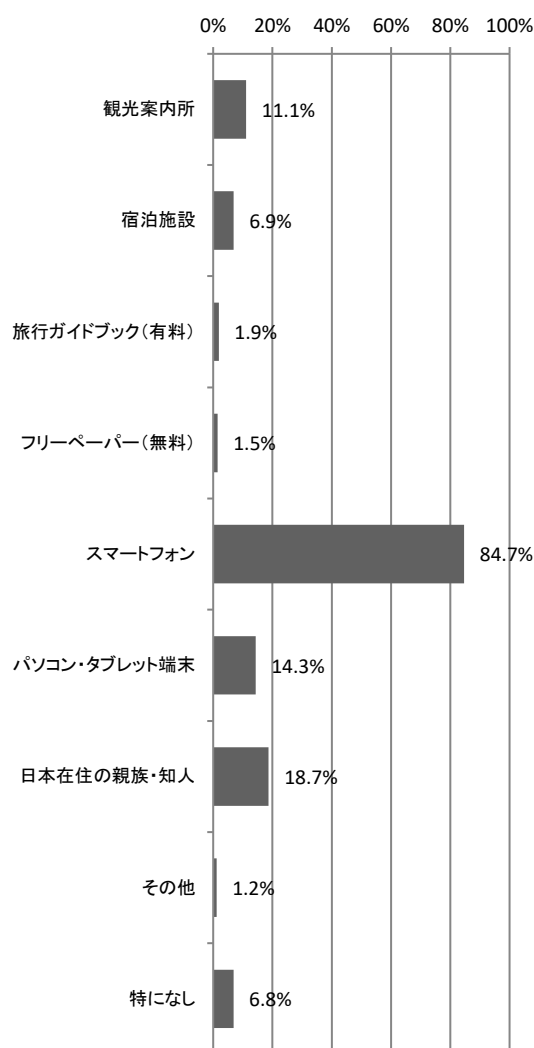
- 出発前に役に立った旅行情報源の言語では、「英語」が60.8%と最も多い。次いで、「韓国語」(26.1%)、「中国語(繁体字)」(16.8%)、「日本語」(18.4%)の順で多い(図表 5-2)。

図表 5-2 出発前に役に立った旅行情報源の言語
(全国籍・地域、複数回答)



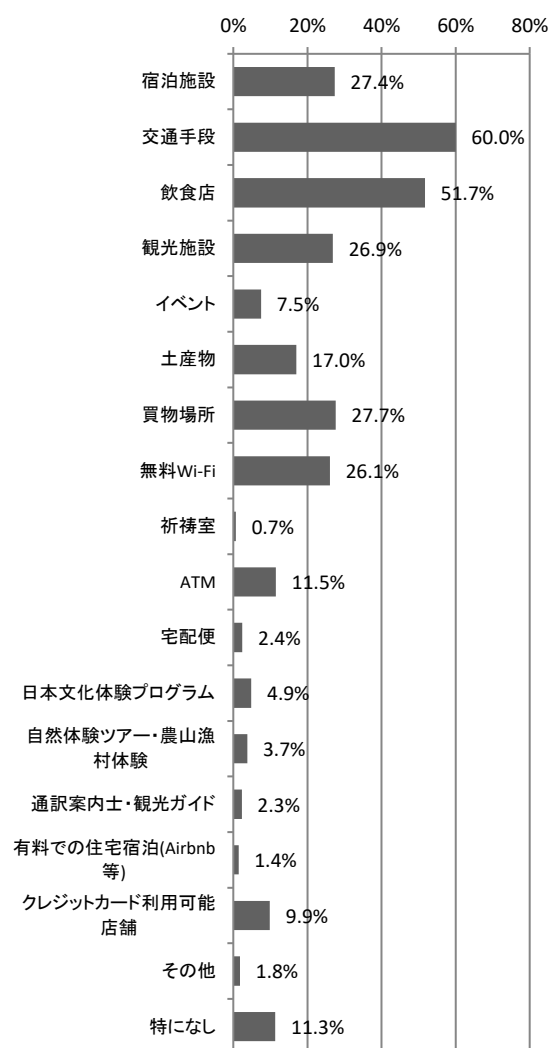
(3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源

- 日本滞在中に役に立った旅行情報源では、「スマートフォン」が84.7%と最も多い。次いで「日本在住の親族・知人」(18.7%)、「パソコン・タブレット端末」(14.3%)、「観光案内所」(11.1%)、「宿泊施設」(6.9%)の順で多い(図表5-3)。

図表 5-3 日本滞在中に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)

(4) 日本滞在中に役に立った旅行情報

- 日本滞在中に役に立った旅行情報では、「交通手段」が60.0%と最も多い。次いで「飲食店」(51.7%)、「買物場所」(27.7%)、「宿泊施設」(27.4%)、「観光施設」(26.9%)、「無料Wi-Fi」(26.1%)の順で多い(図表5-4)。

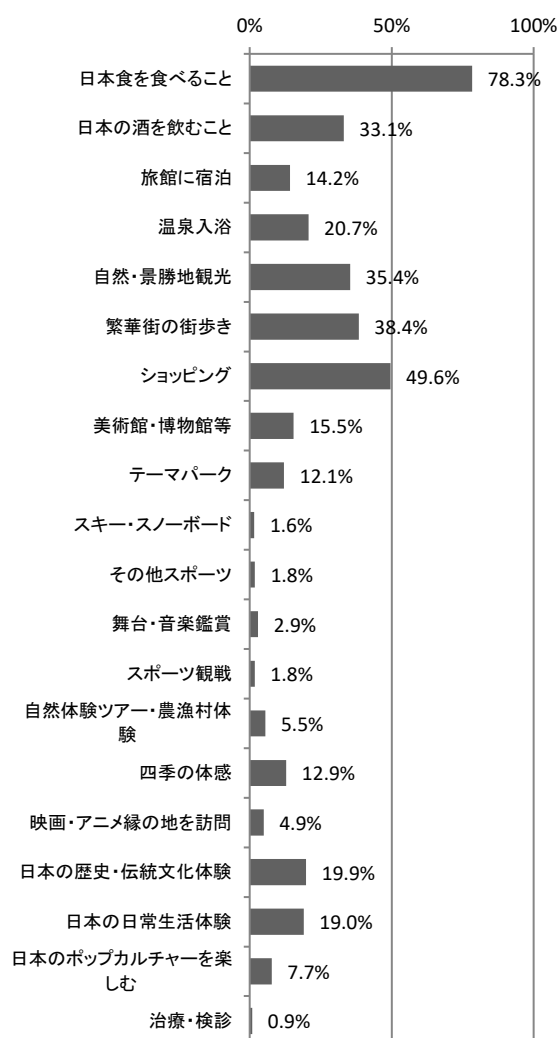
図表 5-4 日本滞在中に役に立った旅行情報
(全国籍・地域、複数回答)

6. 日本滞在中の行動

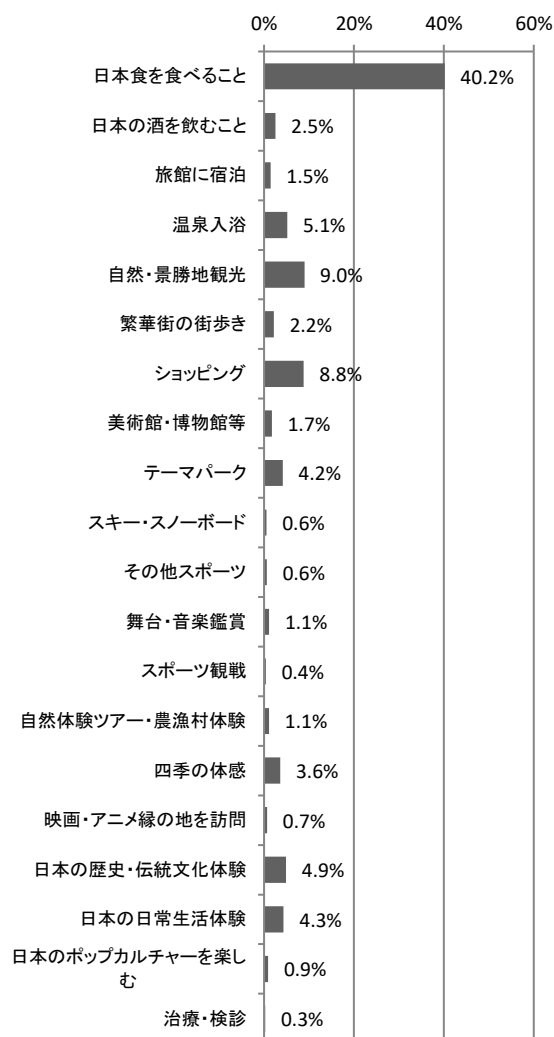
(1) 訪日前に期待していたこと

- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が78.3%と最も多い。次いで「ショッピング」(49.6%)、「繁華街の街歩き」(38.4%)、「自然・景勝地観光」(35.4%)、の順で多い(図表 6-1)。
- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(40.2%)、「自然・景勝地観光」(9.0%)、「ショッピング」(8.8%)、「温泉入浴」(5.1%)の順となった(図表 6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



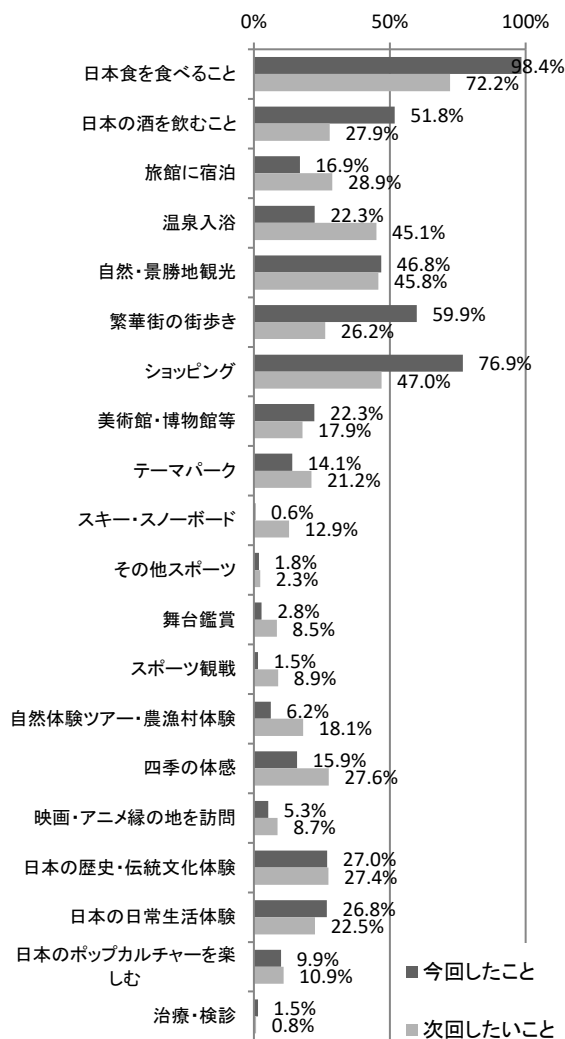
図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



（２）今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」（98.4%）、「ショッピング」（76.9%）、「繁華街の街歩き」（59.9%）の順で選択率が高い（図表 6-3）。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」（72.2%）、「ショッピング」（47.0%）、「自然・景勝地観光」（45.8%）の順で選択率が高い。

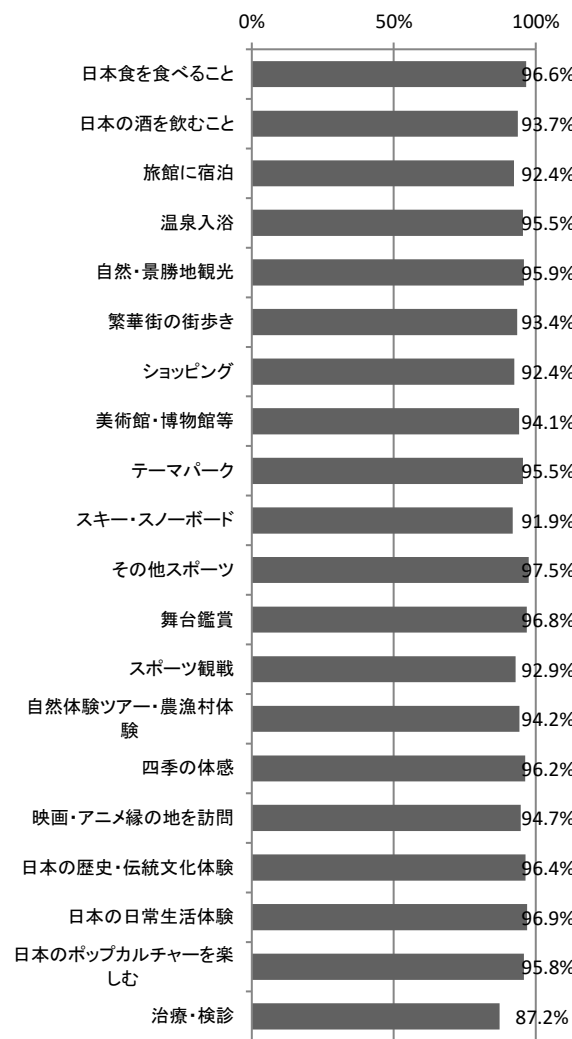
図表 6-3 今回したことと次回したいこと
（全国籍・地域、複数回答）



（３）今回したことの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「その他スポーツ」（97.5%）、「日本の日常生活体験」（96.9%）、「舞台鑑賞」（96.8%）、「日本食を食べること」（96.6%）、「日本の歴史・伝統文化体験」（96.4%）の順で多かった（図表 6-4）。

図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
（全国籍・地域、複数回答）



Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	27
(2) 調査の沿革	27
(3) 調査の根拠法令	27
(4) 調査の対象	27
(5) 抽出方法	28
(6) 目標精度と標本サイズ	28
(7) 調査事項	29
(8) 調査の時期	30
(9) 調査の方法	30

2. 用語の解説

(1) 主要項目	31
(2) 支出費目	33
(3) 買物場所	38

3. 調査の結果

(1) 表章事項	39
(2) 集計方法	39
(3) 調査結果の精度	40
(4) 利用上の注意	40

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

訪日外国人旅行者の消費動向を明らかにし、外国人観光客誘致に関する施策の企画立案、評価等のための基礎資料を得ることを目的とする。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 1 全国調査

日本全体での訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎に、訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 2 クルーズ調査

船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

(2) 調査の沿革

2010 年（平成 22 年）

4-6 月期より調査開始。

2014 年（平成 26 年）

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更（ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等）。

2015 年（平成 27 年）

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門（下関）港、厳原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。
調査票の変更（申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等）。

2018 年（平成 30 年）

従来調査（A 1 全国調査）に加え、B 1 地域調査、B 2 クルーズ調査を新たに開始。
青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。

調査票の変更（訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等）。

2019 年（平成 31 年、令和元年）

B 2 クルーズ調査において平良港、石垣港を調査地点に追加。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 2 条に規定する一般統計として実施した。なお、一般統計の実施と併せ、訪日旅行全体の満足度や再訪意向等の意識調査を同時に行った。

(4) 調査の対象

A 1 全国調査

日本国内の 17 空海港（※1）から出国する訪日外国人。

（※1）新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の 25 空海港（※2）から出国する訪日外国人。

（※2）新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港、那覇港、平良港又は石垣港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A 1 全国調査、B 1 地域調査及びB 2 クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入学していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

(5) 抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 1 全国調査

A 1 全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である17空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B 1 地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である25空海港からの出国者数を母集団とする。

訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため1便当たりの回収数上限を50票と設定する。

(6) 目標精度と標本サイズ

A 1 全国調査

国籍・地域毎の「1人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表1のように定めた。

表1 A 1 全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260	合計		7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）調査結果を用いて導出した。その結果、A 1 全国調査の標本サイズは各四半期7,830票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1人1泊当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表2のように定めた。

表2 B1地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	250	三重県	15.0%	60
青森県	15.0%	50	滋賀県	10.0%	120
岩手県	15.0%	60	京都府	5.0%	420
宮城県	15.0%	60	大阪府	5.0%	360
秋田県	15.0%	50	兵庫県	10.0%	190
山形県	15.0%	50	奈良県	15.0%	170
福島県	15.0%	60	和歌山県	10.0%	90
茨城県	15.0%	80	鳥取県	15.0%	50
栃木県	15.0%	60	島根県	15.0%	60
群馬県	15.0%	50	岡山県	15.0%	60
埼玉県	15.0%	90	広島県	10.0%	80
千葉県	10.0%	1,270	山口県	15.0%	50
東京都	5.0%	570	徳島県	15.0%	60
神奈川県	10.0%	190	香川県	15.0%	60
新潟県	15.0%	80	愛媛県	15.0%	70
富山県	15.0%	50	高知県	15.0%	70
石川県	10.0%	80	福岡県	10.0%	50
福井県	15.0%	50	佐賀県	15.0%	120
山梨県	10.0%	170	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	120	熊本県	10.0%	140
岐阜県	10.0%	70	大分県	10.0%	70
静岡県	10.0%	150	宮崎県	15.0%	50
愛知県	10.0%	110	鹿児島県	10.0%	60
			沖縄県	5.0%	230

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）予備調査の結果を用いて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港（出国港）毎の必要回収数を算出し、B1地域調査の標本サイズは各四半期26,174票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B2クルーズ調査

調査港（国内最終寄港地）毎の「1人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表3のように定めた。

表3 B2クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	430
長崎港	5.0%	530
那覇・平良・石垣港	5.0%	430
	総数	1,390

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）に実施した予備調査の結果を用いて導出した。その結果、B2クルーズ調査の標本サイズは各四半期1,390票となった。

(7) 調査事項

A1全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去1年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、申込方法、ツアー料金又は個別手配者の往復航空（船舶）料金、旅行手配方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B1地域調査及びB2クルーズ調査

国籍・地域、入国日、主な来訪目的、旅行手配方法、ツアー料金又は個別手配者の往復航空（船舶）料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、その他意識調査

（８）調査の時期

2022 年

1-3 月期：1 月 14 日（金）～3 月 15 日（火）

4-6 月期：4 月 9 日（土）～6 月 16 日（木）

7-9 月期：7 月 13 日（水）～9 月 15 日（木）

10-12 月期：10 月 14 日（金）～12 月 13 日（火）

注）新型コロナウイルス感染症の影響により、A 1 全国調査については、表 4 に示す空港でのみ調査を実施した。また、B 1 地域調査および B 2 クルーズ調査は、2022 年の全四半期において調査を中止した。

表 4 A 1 全国調査の実施空海港

◆2022年

空海港	A1全国調査			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
新千歳空港			○	○
函館空港				
仙台空港				
成田空港	○	○	○	○
羽田空港	○	○	○	○
小松空港				
富士山静岡空港				
中部空港		○	○	○
関西空港	○	○	○	○
広島空港				
高松空港				
福岡空港	○	○	○	○
鹿児島空港				
那覇空港			○	○
関門港（下関）				
博多港				
厳原港				

（９）調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方式（他計方式）により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、以上 12 言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第 14 条の 2 に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

アー参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1 人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す 10 の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1. 北海道】北海道

【2. 東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3. 関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

- 【4. 北陸信越】新潟県、富山県、石川県、長野県
- 【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
- 【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 【10. 沖縄】沖縄県

（２）支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホステル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、バケーションレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注）パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注）パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼索鉄道（ケーブルカー）、索道（ロープウ

ェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内（ガイド）

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニスコート、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. スポーツ観戦に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. ゴルフ場に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道（リフト・ロープウェイ等）の利用料金

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソセラピー

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医業類似行為

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. 医薬品に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車（レンタサイクル）、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技（競馬・競輪等）の入場料・投票券（馬券・車券等）、映画館、ビリヤード場、囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリナー、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像、郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金等

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代**e1. 菓子類**

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注）飲食店等で消費した場合は **b. 飲食費** に分類。宿泊費に含まれている飲食費は **a. 宿泊費** に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注）卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は **e4. その他食料品・飲料・たばこ** に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・ **e1. 菓子類～e3. 生鮮農産物** を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳

製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、パン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・ 酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・ たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注）飲食店等で消費した場合は **b. 飲食費** に分類。宿泊費に含まれている飲食費は **a. 宿泊費** に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注）歯ブラシ、化粧用ブラシは **e16. その他買物代** に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙

おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製品：アクセサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身近細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリー、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球

儀、食品模型)、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又は e13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

（３）買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PC やカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・鞆・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100 円ショップ

店内の商品を原則として 1 点 100 日本円均一で 販売する形態の小売店

高速道路の SA・道の駅

高速道路のサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間に買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に扱う

アウトレットモール

「メーカー品」（通常、メーカーのブランド名を表示したもの）や、「高級ブランド品」（通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの）を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注）駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗（臨時店舗を含む）

その他

上記に当てはまらない買物場所（書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等）

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 1 全国調査及びB 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収された回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X : 全体（全国籍・地域）の統計値

x_i : 層 i の統計値

N_i : 層 i の訪日外客数

さらに、A 1 全国調査とB 1 地域調査の整合を図るため、B 1 地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関してA 1 全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（3 区分）別の旅行者数
- ・国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（2 区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則としてIMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMF にデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについてはFRB（連邦準備制度理事会）、インドネシア・ルピアおよびベトナム・ドンについては財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

（３）調査結果の精度

A 1 全国調査の四半期毎の調査結果の精度を、有効回答数とともに表 5 に示す。調査結果の精度は、目標精度を設定した推定値の標準誤差率（＝推定値の標準誤差／推定値）を用いて表す。

（４）利用上の注意

- ・ 2018 年より調査方法を変更したため、2017 年までの数値との比較には留意が必要である。
- ・ 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- ・ 集計表で使用されている「－」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。

- ・ 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- ・ 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空港の所在地が含まれる。
- ・ 2022 年 1-3 月期及び 4-6 月期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国籍・地域別および出国港別に層化するにあたって十分なサンプルが確保できなかったことから、法務省「出入国管理統計」の単純出国者数は使用せず、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」のみでウェイトバック集計をおこなっている。したがって、「表 1-1」の「出国空港・海港」の構成比は法務省「出入国管理統計」とは一致しない。

A 1 全国調査

表 5 有効回答数と推定値（国籍・地域別 1 人当たり旅行総支出）の標準誤差率

国籍・地域 (21区分)	2022年		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	有効回答数	標準誤差率	有効回答数	標準誤差率	有効回答数	標準誤差率	有効回答数	標準誤差率	有効回答数	標準誤差率
全国籍・地域	26,028	－	2,427	－	5,135	－	7,640	－	10,826	－
韓国	3,943	2.5%	102	11.9%	522	4.0%	1,385	3.3%	1,934	1.7%
台湾	2,315	3.3%	43	17.2%	191	7.8%	632	4.5%	1,449	3.4%
香港	1,075	3.3%	14	34.0%	39	9.4%	57	10.9%	965	2.9%
中国	853	4.7%	158	9.9%	156	9.0%	229	5.1%	310	5.0%
タイ	1,137	3.2%	39	15.6%	155	7.8%	278	4.8%	665	2.8%
シンガポール	598	5.0%	14	19.3%	67	15.9%	151	9.9%	366	3.6%
マレーシア	736	4.8%	14	41.4%	86	7.2%	237	6.3%	399	3.6%
インドネシア	741	4.9%	75	14.4%	154	6.9%	236	6.5%	276	4.3%
フィリピン	2,338	3.6%	716	3.8%	696	3.8%	542	3.5%	384	4.6%
ベトナム	585	4.7%	58	14.6%	66	11.3%	175	6.0%	286	4.4%
インド	998	4.0%	57	14.8%	253	4.4%	369	4.0%	319	4.2%
英国	583	6.8%	60	21.1%	110	7.5%	151	10.1%	262	5.6%
ドイツ	1,062	2.9%	19	24.1%	230	4.4%	411	3.8%	402	2.4%
フランス	587	4.5%	24	19.8%	125	6.1%	199	5.4%	239	4.1%
イタリア	320	5.8%	11	22.2%	58	8.6%	147	5.6%	104	5.9%
スペイン	165	17.2%	3	24.8%	30	12.3%	50	26.4%	82	6.8%
ロシア	50	17.7%	11	46.0%	7	25.2%	21	18.7%	11	21.3%
米国	4,980	1.9%	781	3.6%	1,460	2.4%	1,392	2.2%	1,347	2.0%
カナダ	329	6.6%	11	27.0%	62	9.5%	83	7.1%	173	7.2%
オーストラリア	449	4.8%	12	19.9%	128	6.3%	105	9.1%	204	4.7%
その他	2,184	2.7%	205	8.4%	540	3.7%	790	2.9%	649	2.7%

注1) 国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もあるため、留意されたい。

＜集計表＞

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数

【一般客（業務目的）】

参考 16	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
参考 17	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
参考 18	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
参考 19	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数
参考 20	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率
参考 21	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 22	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を得た外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率

＜調査票＞

日本語、英語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）

訪日外国人の消費動向
2022 年 年次報告書

発 行 2023 年 3 月

編 集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 番 2 号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27223、27230

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>